地域保育学科（～2018 年度入学生）
2020 年 6 月 10 日　更新

2020 年 4 月 1 日　更新

科目名	総合演習Ⅱ（卒業研究）	単位数	2	実務経験	担当教員	かがや　たかふみ 加賀谷　崇文
ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞｺｰﾄﾞ	CHS2228	授業形態	演習			

授業の内容	保育、幼児教育に関連する幅広い分野から学生が興味あるテーマを選択し、そのテーマを専門とする専任教員の指導により卒業論文を作成する。講義は、少人数によるゼミナール形式で行われる。また、論文提出後には発表会が行われる。このことを通じ、保育者として必要な専門的知識をさらに深める。 研究テーマとしては、臨床心理学に関連する「母子関係」「保育者のメンタルケア」「子育て支援」などを中心とする。
到達目標	1. 自分自身の興味がある分野について理解している。 2. 客観的な判断を行うための、研究法を理解している。 3. 得られたデータから考察することができる。 4. 自分の意見を論理的に表現することができる。
学位授与方針	幼児教育学科（　　）地域保育学科（　1,2　　）文化表現学科（　　）

授業計画

第1回	内容	研究テーマを考える	予習	自分の興味あるテーマを考える
			復習	検討した内容を整理する
第2回	内容	過去の卒業研究を読み込む	予習	自分の研究をイメージする
			復習	参考になりそうな研究を読み込む
第3回	内容	具体的な研究内容を検討する	予習	自分の研究したい内容を考える
			復習	検討した内容を整理する
第4回	内容	研究法を学ぶ	予習	研究の具体的な内容を考える
			復習	自分のテーマと研究法を考える
第5回	内容	先行研究を検索する	予習	文献検索の方法を知っておく
			復習	手に入れた文献に目を通す
第6回	内容	先行研究を読み込む	予習	文献を読む
			復習	文献を読みなおす
第7回	内容	先行研究を読み込む	予習	新たな文献を読む
			復習	先行研究をまとめる
第8回	内容	先行研究の発表	予習	発表資料を作成する
			復習	指摘された点を整理する
第9回	内容	先行研究の発表	予習	発表資料を作成する
			復習	指摘された点を整理する
第10回	内容	研究テーマの決定	予習	研究テーマを考える
			復習	指摘された点を整理する
第11回	内容	研究の具体的方法を考える	予習	研究テーマを理解しておく
			復習	指摘された点を整理する
第12回	内容	研究内容の決定	予習	研究内容を考える
			復習	研究内容を整理する
第13回	内容	参考文献を検索する	予習	足りない知識を理解する
			復習	参考文献に目を通す
第14回	内容	参考文献を読み込む	予習	参考文献の読み込み
			復習	参考文献の読みなおし
第15回	内容	参考研文献を読み込む	予習	新たな参考文献の読み込み
			復習	新たな参考文献の読みなおし
第16回	内容	データを取る	予習	調査法を考える
			復習	調査を行う
第17回	内容	データを取る：不足分	予習	さらに調査を行う
			復習	不足分の調査を行う
第18回	内容	データの入力	予習	データを見直す
			復習	データの入力作業
第19回	内容	データの入力:確認作業	予習	データの入力作業の続き
			復習	データの入力作業の見直し
第20回	内容	データの分析	予習	不足分のデータの入力作業
			復習	分析作業

	第 21 回	内容	データの分析：統計	予習	分析作業の続き
				復習	統計作業
	第 22 回	内容	方法の執筆	予習	統計の見直し
				復習	論文執筆
	第 23 回	内容	結果の執筆	予習	方法執筆
				復習	結果執筆
	第 24 回	内容	はじめにの執筆	予習	結果執筆を終わらせる
				復習	はじめにの執筆
	第 25 回	内容	考察の執筆	予習	はじめにの執筆を終わらせる
				復習	考察執筆
	第 26 回	内容	引用文献等の執筆	予習	考察執筆を終わらせる
				復習	引用文献執筆
	第 27 回	内容	発表について	予習	自分の論文を読み込む
				復習	発表内容を考える
	第 28 回	内容	パワーポイントの作成	予習	発表準備
				復習	パワーポイント準備
	第 29 回	内容	発表原稿の作成	予習	パワーポイント準備を終わらせる
				復習	発表原稿準備
	第 30 回	内容	発表	予習	発表に必要な事柄の準備
				復習	指摘された内容を整理する
	予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。　復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。				
課題へのフィードバック	随時指導の中で行っていく				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（　）する／（〇）しない 成績評価の方法：　レポート・課題（80%）、作品・発表（10%）、授業態度（　10%）				
教科書	なし				
参考文献	なし				
注意事項	講義時間以外にも積極的に研究を行うこと。				

科目名	総合演習Ⅱ（卒業研究）	単位数	2	実務経験	担当教員	大輪（おおわ）　公壱（こういち）
ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞｺｰﾄﾞ	CHS2228	授業形態	演習			

授業の内容	保育、幼児教育に関連する幅広い分野から学生が興味あるテーマを選択し、そのテーマを専門とする専任教員の指導により卒業論文を作成する。講義は、少人数によるゼミナール形式で行われる。また、論文提出後には発表会が行われる。このことを通じ、保育者として必要な専門的知識をさらに深める。
到達目標	1. 論文口調で文章を書くことができる。 2. 要約・縮約の技術を身につけ、それらができるようになる。 3. 論文の書式（文献表等の書き方）を身につけ、それができるようになる。
学位授与方針	幼児教育学科（　　）地域保育学科（1・2・3・4・5）文化表現学科（　　）

授業計画

第1回	内容	オリエンテーション	予習	概要を予習しレポートにまとめる
			復習	オリエンテーション内容をレポート化する
第2回	内容	音楽領域研究の方法 ①洋楽	予習	プリント概要を熟読しレポートにまとめる
			復習	配布資料を熟読しレポートにまとめる
第3回	内容	音楽領域研究の方法②日本音楽	予習	プリント概要を熟読しレポートにまとめる
			復習	配布資料を熟読しレポートにまとめる
第4回	内容	音楽領域研究の方法③その他の音楽	予習	プリント概要を熟読しレポートにまとめる
			復習	配布資料を熟読しレポートにまとめる
第5回	内容	テーマの設定とグループ分け	予習	テーマを考えプリントにまとめる
			復習	設定したテーマの概要をプリントにまとめる
第6回	内容	テーマの決定	予習	テーマについて熟考しプリントにまとめる
			復習	副題を含めた詳細をプリントにまとめる
第7回	内容	テーマに関する図書研究　①図書館の機能と検索法	予習	プリント概要を熟読しレポートにまとめる
			復習	配布資料を熟読しレポートにまとめる
第8回	内容	テーマに関する図書研究②秋草学園図書館	予習	プリント概要を熟読しレポートにまとめる
			復習	配布資料を熟読しレポートにまとめる
第9回	内容	テーマに関する図書研究③外部図書館	予習	プリント概要を熟読しレポートにまとめる
			復習	配布資料を熟読しレポートにまとめる
第10回	内容	資料検索と論文書式　①資料検索法	予習	プリント概要を熟読しレポートにまとめる
			復習	配布資料を熟読しレポートにまとめる
第11回	内容	資料検索と論文書式②検索資料の確認	予習	プリント概要を熟読しレポートにまとめる
			復習	配布資料を熟読しレポートにまとめる
第12回	内容	資料検索と論文書式③参考引用資料の書式法	予習	プリント概要を熟読しレポートにまとめる
			復習	配布資料を熟読しレポートにまとめる
第13回	内容	中間報告　　概要	予習	中間報告についてレポートにまとめる
			復習	中間報告概要を再確認しレポートにまとめる
第14回	内容	中間報告　　文献について	予習	文献の概要についてレポートにまとめる
			復習	文献の詳細をレポートにまとめる
第15回	内容	中間報告　　文献の書式	予習	文献の書式を確認しレポートにまとめる
			復習	書式の詳細をレポートにまとめる
第16回	内容	中間報告　　洋書文献・その他の書式	予習	複数の書式についてレポートにまとめる
			復習	ラテン語略記法をレポートにまとめる
第17回	内容	論文の推敲　①論文口調は整っているか	予習	推敲の方法についてレポートにまとめる
			復習	論文口調についてレポートにまとめる
第18回	内容	論文の推敲　②各題における全体の配分	予習	各題の配分をレポートにまとめる
			復習	各題の概要をレポートにまとめる
第19回	内容	論文の推敲　③要旨を的確に記述しているかどうか	予習	要旨の概要をレポートにまとめる
			復習	要旨の詳細をレポートにまとめる
第20回	内容	最終報告　　①注釈・引用文・引用法	予習	注釈・引用の概要をレポートにまとめる
			復習	注釈・引用の詳細をレポートにまとめる

	第 21 回	内容	最終報告②参考文献の本文中の示し方	予習	プリント概要を熟読しレポートにまとめる
				復習	配布資料を熟読しレポートにまとめる
	第 22 回	内容	最終報告③従来型の示し方	予習	プリント概要を熟読しレポートにまとめる
				復習	配布資料を熟読しレポートにまとめる
	第 23 回	内容	最終報告④近年型の示し方	予習	プリント概要を熟読しレポートにまとめる
				復習	配布資料を熟読しレポートにまとめる
	第 24 回	内容	卒業論文指導　①インターネット資料の表記	予習	プリント概要を熟読しレポートにまとめる
				復習	配布資料を熟読しレポートにまとめる
	第 25 回	内容	卒業論文指導　②新聞記事の表記	予習	プリント概要を熟読しレポートにまとめる
				復習	配布資料を熟読しレポートにまとめる
	第 26 回	内容	卒業論文指導　③書名をどのように表記するか	予習	プリント概要を熟読しレポートにまとめる
				復習	配布資料を熟読しレポートにまとめる
	第 27 回	内容	卒業論文指導　④引用文献一覧の作成	予習	プリント概要を熟読しレポートにまとめる
				復習	配布資料を熟読しレポートにまとめる
	第 28 回	内容	卒業論文指導　⑤参考文献一覧の作成	予習	プリント概要を熟読しレポートにまとめる
				復習	配布資料を熟読しレポートにまとめる
	第 29 回	内容	卒業論文報告	予習	報告内容の概要をレポートにまとめる
				復習	レポートにまとめた概要を再確認する
	第 30 回	内容	レジュメ発表	予習	レジュメの概要についてレポートにまとめる
				復習	発表したレジュメを再確認しレポート化する
	予習に要する学習時間：概ね 15 分を目安とする。　復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。				
課題へのフィードバック	随時レポート（要約・縮約）の提出をし、各個人へ解説・アドヴァイスを行う。				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（　）する／（〇）しない 成績評価の方法：レポート・課題（100%）				
教科書	毎時プリントを配布。				
参考文献	『日本語練習帳』　（大野晋、岩波新書）				
注意事項	自分の研究テーマを明確にし、積極的に取り組むことを期待する。 論文完成までのマクロ的な計画を立てて進めること。				

科　目　名	総合演習Ⅱ（卒業研究）	単位数	2	実務経験	担当教員	はしもと　ようこ 橋 本　洋子
ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞｺｰﾄﾞ	CHS2228	授業形態	演習			

授　業　の 内　　容	保育、幼児教育に関連する幅広い分野から学生が興味あるテーマを選択し、そのテーマを専門とする専任教員の指導により卒業論文を作成する。講義は、少人数によるゼミナール形式で行われる。また、論文提出後には発表会が行われる。このことを通じ、保育者として必要な専門的知識をさらに深める。研究テーマは食や健康など日常生活全般にわたり、研究方法は①フィールドワーク、②質問紙調査、③文献研究等がある。P（plan、計画）D（do　実行）C（check　評価、振り返る）A（act　改善）サイクルで効果的に学習する方法を学ぶ。
到 達 目 標	１．子どもを取り巻く生活環境を理解している。 ２．研究テーマをみつけ、様々な角度から情報を収集し検証する力を身につけている。 ３．調査結果等から疑問を解決し、まとめる力を身につけている。 ４．適切な表現を用いて聞き手に分かりやすく説明することができる。
学位授与方針	地域保育学科（①・②・④・⑤）

授 業 計 画					
	第１回	内容	ガイダンス 授業の進め方と年間計画の立案	予習	シラバスをよく読んでおく
				復習	研究テーマを考える
	第２回	内容	健康について考える（ＤＶＤ）	予習	健康に関する資料を収集する
				復習	レポートをまとめる
	第３回	内容	研究テーマを考える① 保育制度について	予習	保育制度について調べる
				復習	保育制度についてレポートにまとめる
	第４回	内容	研究テーマを考える② 子ども・保育者を取り巻く環境	予習	保育内容の授業を復習しておく
				復習	保育環境についてレポートをまとめる
	第５回	内容	文献・資料収集、観察① Keyword をもとに先行研究を調べる	予習	研究の keyword を選定する
				復習	調べた論文を整理する
	第６回	内容	文献・資料収集、観察② 専門書・資料の検索	予習	論文を読む
				復習	専門書・資料を読む
	第７回	内容	文献・資料収集、観察③ 先行研究をまとめる	予習	専門書・資料をまとめる
				復習	先行研究の文献をまとめる
	第８回	内容	先行研究の発表・ディスカッション グループ①	予習	発表の準備をする
				復習	ディスカッションの内容をまとめる
	第９回	内容	先行研究の発表・ディスカッション グループ②	予習	発表の準備をする
				復習	助言にもとづき研究テーマを選定しておく
	第10回	内容	テーマの決定・研究内容の方向付け	予習	研究テーマに必要な論文・資料を収集する
				復習	研究テーマを決める
	第11回	内容	論文執筆の説明 研究計画の立案と必要資料の確認	予習	研究の方法を考える
				復習	論文執筆に関する配布資料をよく読む
	第12回	内容	論文の執筆　研究目的	予習	先行文献から導入を考える
				復習	研究目的を書き進める
	第13回	内容	論文の執筆　研究内容	予習	研究目的をまとめる
				復習	研究内容の詳細を立案する
	第14回	内容	論文の執筆　研究方法	予習	研究方法を考える（①～③より選択）
				復習	研究方法の決定
	第15回	内容	学外授業	予習	学外授業の目的を理解する
				復習	学外授業の学びをレポートにまとめる
	第16回	内容	研究計画の見直し	予習	選択した研究方法をまとめ、計画を立案する
				復習	論文執筆に必要な資料を準備する
	第17回	内容	論文執筆　・　質問紙作成　・　フィールドワーク	予習	先行研究をベースに研究方法を確認する
				復習	質問紙の作成・フィールドワークを記録する
	第18回	内容	論文執筆　・　質問紙作成　・　フィールドワーク	予習	質問紙の修正・フィールドワークをまとめる
				復習	質問紙の準備・フィールドワークを記録する
	第19回	内容	論文執筆　・　質問紙作成　・　フィールドワーク	予習	調査への配慮を確認する・記録を整理する
				復習	記録のチェックをする
	第20回	内容	論文執筆　・　質問紙作成　・　フィールドワーク	予習	最終的な研究方法を考える

				復習	研究方法を整理する
	第 21 回	内容	論文執筆 質問紙およびフィールドワークのデータ整理	予習	データ入力の準備をする・記録を整理する
				復習	回収した質問紙の確認・記録を整理する
	第 22 回	内容	論文執筆 質問紙およびフィールドワークのデータ入力	予習	研究方法の詳細および対象者を執筆する
				復習	回収した質問紙データおよび記録の確認
	第 23 回	内容	論文執筆 質問紙およびフィールドワークのデータ解析	予習	データおよび記録の入力
				復習	入力したデータの確認
	第 24 回	内容	論文執筆・修正 質問紙およびフィールドワークのデータをまとめる	予習	結果を執筆する
				復習	結果・考察をまとめる
	第 25 回	内容	論文の修正　データの確認	予習	文献を確認する
				復習	研究結果を図表にまとめる
	第 26 回	内容	論文の修正　文献の確認	予習	執筆した部分を読み返す
				復習	論文の内容確認（データ、図表の数値など）
	第 27 回	内容	研究論文の提出	予習	考察をまとめる・ページ設定を確認する
				復習	論文を修正する
	第 28 回	内容	研究発表・ディスカッション①	予習	論文の提出準備をする
				復習	研究発表の準備をする
	第 29 回	内容	研究発表・ディスカッション②	予習	研究発表のレジュメを作成する
				復習	ディスカッションをレポートにまとめる
	第 30 回	内容	まとめ	予習	研究発表のレジュメを作成する
				復習	ディスカッションをレポートにまとめる
	予習に要する学習時間：概ね３０分を目安とする。　復習に要する学習時間：概ね３０分を目安とする。				
課題へのフィードバック	提出レポートおよびディスカッション内容について都度フィードバックを行う 研究論文の執筆。修正を通してフィードバックを行う				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（　）する／（○ ）しない 成績評価の方法：　論文（７０％）、レポート・課題（１０％）、発表（１０％）、授業態度（１０％）				
教科書	必要に応じて紹介する				
参考文献	必要に応じて紹介する				
注意事項	保育者としての視点から、「食」や「健康」をはじめとした自然科学の分野においてテーマをみつけ、文献研究や観察研究をすすめ、論文としてまとめていく。演習生それぞれが自分の研究テーマに向かって積極的に取り組むことを期待する。先行論文や白書などを参考に情報を収集し、綿密な計画を立て、取り組んでほしい。				

科　目　名	総合演習Ⅱ（卒業研究）	単 位 数	2	実務経験	担当教員	まつなが　しずこ 松永　静子
ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞｺｰﾄﾞ	CHS2228	授業形態	演習	有・無		

授　業　の 内　　容	保育・教育に関連する幅広い分野から学生が興味あるテーマを選択し、そのテーマを専門とする専任教員の指導により卒業論文を作成する。講義は少人数によるゼミナール形式で行う。論文提出後には発表会を行い、保育者として必要な知識をさらに深める。主な研究テーマとしては、児童文化、児童文学、保育内容、遊び、育児、家庭支援等を中心とする。
到 達 目 標	1.学生が自らの興味関心に基づき、研究テーマを見出すｋぉとができる。 2.テーマに沿った文、インタビュー調査、文献調査、フィールドワークなどにより、研究し、内容をまとめることができる。
学位授与方針	幼児教育学科（1・2・3・4・5・6・7）地域保育学科（1・2・3・4・5）文化表現学科（1・2・3・4）

授 業 計 画				
第１回	内容	講義の方針と年間計画	予習	研究テーマに関する資料収集
			復習	研究テーマに関する資料収集
第２回	内容	研究テーマについての講義	予習	資料の事前準備
			復習	資料からテーマをまとめる
第３回	内容	研究テーマについての講義	予習	資料の事前準備
			復習	資料からテーマをまとめる
第４回	内容	研究テーマについての講義	予習	資料の事前準備
			復習	資料からテーマをまとめる
第５回	内容	学生によるテーマの選定	予習	テーマに関する計画立案
			復習	テーマに関する計画立案修正
第６回	内容	学生によるテーマの選定	予習	テーマに関する計画立案
			復習	テーマに関する立案修正
第７回	内容	学生によるテーマの選定	予習	テーマに関する計画立案
			復習	テーマに関する立案修正
第８回	内容	文献調査	予習	テーマに関する文献を読む
			復習	テーマに関する文献をまとめる
第９回	内容	文献調査	予習	テーマに関する文献を読む
			復習	テーマに関する文献をまとめる
第 10 回	内容	文献調査	予習	テーマに関する文献を読む
			復習	テーマに関する文献をまとめる
第 11 回	内容	フィールドの見学	予習	テーマに関する視察の準備
			復習	視察の結果をまとめる
第 12 回	内容	フィールドの見学	予習	テーマに関する視察の準備
			復習	視察の結果をまとめる
第 13 回	内容	中間発表	予習	序論執筆
			復習	序論修正
第 14 回	内容	中間発表	予習	序論執筆
			復習	序論修正
第 15 回	内容	中間発表	予習	序論執筆
			復習	序論修正
第 16 回	内容	論文作成の準備	予習	本論執筆の準備
			復習	本論執筆
第 17 回	内容	論文作成の準備	予習	本論執筆の準備
			復習	本論執筆
第 18 回	内容	論文作成の準備	予習	本論執筆の準備
			復習	本論執筆
第 19 回	内容	論文作成	予習	序論・本論執筆
			復習	序論・本論修正
第 20 回	内容	論文作成	予習	序論・本論執筆
			復習	序論・本論修正

授 業 計 画	第 21 回	内容	論文作成	予習	本論執筆
				復習	本論執筆
	第 22 回	内容	論文作成	予習	本論執筆
				復習	本論執筆
	第 23 回	内容	論文作成	予習	本論執筆
				復習	本論執筆
	第 24 回	内容	論文作成	予習	本論執筆
				復習	本論執筆
	第 25 回	内容	論文作成	予習	本論執筆
				復習	最終章まで執筆
	第 26 回	内容	論文修正	予習	最終章まで執筆
				復習	最終章まで執筆
	第 27 回	内容	論文修正	予習	最終章まで執筆
				復習	最終章まで執筆
	第 28 回	内容	論文修正	予習	最終章まで執筆
				復習	最終章まで執筆
	第 29 回	内容	論文発表	予習	論文のゼミ内発表
				復習	論文のゼミ内発表振り返り
	第 30 回	内容	論文発表	予習	論文のゼミ内発表
				復習	論文のゼミ内発表振り返り
	予習に要する学習時間：概ね　30　分を目安とする。　復習に要する学習時間：概ね　30　分を目安とする。				
課題へのフィードバック	個人指導による論文指導を行いフィードバックする。				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（　）する／（　○　）しない 成績評価の方法：　筆記試験（　%）、レポート・課題（　%）、作品・発表（　%）、実技（　%）、授業態度（　%）				
教科書	『書店』（著者名、出版社名）				
参考文献	『書店』（著者名、出版社名）				
注意事項					

科　目　名	総合演習Ⅱ（卒業研究）	単位数	2	実務経験	担当教員	つちや　ゆう 土屋　由
ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞｺｰﾄﾞ	CHS2228	授業形態	演習			

授業の内容	保育、幼児教育に関連する幅広い分野から学生が興味あるテーマを選択し、そのテーマを専門とする専任教員の指導により卒業論文を作成する。講義は、少人数によるゼミナール形式で行われる。また、論文提出後には発表会が行われる。このことを通じ、保育者として必要な専門的知識をさらに深める。 主な研究テーマとしては、「保育内容」「子どもの生活・遊びや文化に関すること」「育児・家族に関すること」などである。保育所・幼稚園・家庭をフィールドとする質的研究および文献研究を行い、論文としてまとめる。
到達目標	1. 保育・幼児教育について、興味あるテーマを設定し、その課題について理解している。 2. 自らの選んだテーマに関連する文献を読み、問題の所在を明らかにすることができる。 3. インタビューや質問紙調査、文献調査など、必要な資料収集の方法を理解している。 4. 必要な資料収集及び考察を進め、卒業研究としてまとめることができる。
学位授与方針	幼児教育学科（　　）地域保育学科（①②⑤）文化表現学科（　　）

授業計画				
第1回	内容	講義の方針と年間計画	予習	シラバスに目を通す
			復習	卒論をまとめるまでの計画をたてる
第2回	内容	フィールドワークとは何か	予習	フィールドワーク（配布プリント）に目を通す
			復習	フィールドワークについてノートにまとめる
第3回	内容	フィールドワークの調査方法	予習	調査方法（配布プリント）に目を通す
			復習	様々な調査方法についてノートにまとめる
第4回	内容	フィールドワークのまとめ方	予習	まとめ方（配布プリント）に目を通す
			復習	まとめ方についてノートにまとめる
第5回	内容	研究テーマの選定	予習	研究テーマを考える
			復習	研究テーマをさらに練る
第6回	内容	研究テーマについて必要な文献を集める①専門書	予習	テーマに関する専門書を調べる
			復習	調べた専門書を入手し、読む
第7回	内容	研究テーマについえ必要な文献を集める②論文	予習	テーマに関する論文を調べる
			復習	調べた論文を入手し、読む
第8回	内容	先行研究の検討①調査方法や対象	予習	先行研究を見つける
			復習	先行研究の調査方法や対象をまとめる
第9回	内容	先行研究の検討②結果や考察	予習	先行研究を引き続き探す
			復習	先行研究の結果や考察をまとめる
第10回	内容	問題の所在や目的を明らかにする	予習	研究の問題の所在や目的を考える
			復習	研究の問題の所在や目的をまとめる
第11回	内容	中間報告の準備	予習	中間報告に向けて、調べた文献などを整理する
			復習	中間報告の内容を検討する
第12回	内容	中間報告①前半グループ	予習	中間報告に向けてレジュメを仕上げる
			復習	他者の発表を聞き、気づいたことをまとめる
第13回	内容	中間報告②後半グループ	予習	中間報告に向けてレジュメを仕上げる
			復習	他者の発表を聞き、気づいたことをまとめる
第14回	内容	子ども関連施設の見学	予習	対象子ども関連施設を調べる
			復習	対象子ども関連施設の意義をまとめる
第15回	内容	子ども関連施設の見学	予習	利用者の様子を観察する
			復習	体験して気づいたことをまとめる
第16回	内容	調査の実施に向けた準備	予習	調査方法の下案を作成する
			復習	インタビュー項目や質問紙を作成する
第17回	内容	調査の実施①質問紙調査	予習	調査に必要な準備をする
			復習	調査後の整理をする
第18回	内容	調査の実施②インタビューや観察調査	予習	調査に必要な準備をする
			復習	調査後の整理をする
第19回	内容	結果の整理①質問紙調査	予習	質問紙調査の結果をおおまかに整理する
			復習	質問紙調査の結果を検討する
第20回	内容	結果の整理②インタビューや観察調査	予習	インタビューや観察調査の結果を整理する

				復習	インタビューや観察調査の結果を検討する
	第 21 回	内容	考察を進める①観点 1	予習	結果に基づき、観点 1 の下案をまとめる
				復習	考察 1 としてまとめる
	第 22 回	内容	考察を進める②観点 2	予習	結果に基づき、観点 2 の下案をまとめる
				復習	考察 2 としてまとめる
	第 23 回	内容	考察を進める③観点 3	予習	結果に基づき、観点 3 の下案をまとめる
				復習	考察 3 としてまとめる
	第 24 回	内容	結論を検討する	予習	結論の下案を考える
				復習	検討を踏まえ、結論を仕上げる
	第 25 回	内容	今後の課題を検討する	予習	今後の課題の下案を考える
				復習	検討を踏まえ、今後の課題を仕上げる
	第 26 回	内容	研究のまとめ①前半部分のまとめ	予習	卒業研究の前半部分を整理する
				復習	修正を踏まえて、前半部分を仕上げる
	第 27 回	内容	研究のまとめ②後半部分のまとめ	予習	卒業研究の後半部分を整理する
				復習	修正を踏まえて、後半部分を仕上げる
	第 28 回	内容	論文発表①前半グループ	予習	前半グループレジュメ作成
				復習	発表を聞いて、気づいたことをまとめる
	第 29 回	内容	論文発表②後半グループ	予習	後半グループレジュメ作成
				復習	発表を聞いて、気づいたことをまとめる
	第 30 回	内容	**まとめ**	予習	振り返りを考える
				復習	他者の発表を聞き、気づいたことをまとめる
	予習に要する学習時間：概ね 25 分を目安とする。　復習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。				
課題へのフィードバック	卒業論文の発表会を行い、コメントを伝える。				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（　）する／（〇）しない 成績評価の方法：　論文（70%）、発表（20%）、授業態度（10%）				
教科書	なし。				
参考文献	授業において適宜紹介する。				
注意事項	研究テーマを明確にすること。必要な文献をしっかりと読みこなすことを期待したい。				

科目名	総合演習Ⅱ（卒業研究）	単位数	2	実務経験	担当教員	いとう　あきよし 伊藤　明芳
ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞｺｰﾄﾞ	CHS2228	授業形態	演習			

授業の内容	保育、幼児教育に関連する幅広い分野から、学生が興味あるテーマを選択し、そのテーマを専門とする専任教員の指導により卒業論文を作成する。講義は、少人数によるゼミナール形式で行われる。また、論文提出後には発表会が行われる。このことを通じて保育者として必要な専門的知識をさらに深める。 研究テーマ：１．発達心理学など、子どもや保育･教育に関わる心理学全般、２．「子育て支援」に関する分野、３．「教育･保育相談」、「カウンセリング」などの分野
到達目標	1. 卒業研究(卒業論文)の作成を通して、研究の方法を修得する。 2. 卒業研究(卒業論文)の作成を通して、研究の方法を修得する。 3. 保育・教育現場での問題、課題の発見、理解と対応について考える際に、学んだ見識や研究方法を活用できるようになる。
学位授与方針	幼児教育学科（　　）地域保育学科（　1,2　　）文化表現学科（　　）

授業計画

第１回	内容	論文とは何か、その概要を調べる。	予習	シラバスやゼミ案内書を読む。
			復習	ゼミ内容と年間計画について理解する。
第２回	内容	論文作成についての概説①	予習	論文とは何か、その概要を調べる。
			復習	講義内容を理解する。
第３回	内容	前回の講義内容を理解する。	予習	前回の講義内容を理解する。
			復習	講義内容を理解する
第４回	内容	論文作成についての概説③	予習	前回の講義内容を理解する。
			復習	講義内容を理解する。
第５回	内容	各学生による研究テーマの選定①	予習	テーマについて考える。
			復習	各学生による研究テーマの選定①
第６回	内容	各学生による研究テーマの選定②	予習	自己の卒論テーマを考える。
			復習	各学生による研究テーマの選定②
第７回	内容	各学生による研究テーマの選定③	予習	自己の卒論テーマをしぼる。
			復習	テーマの選定を実際に試みる。
第８回	内容	各学生による研究テーマの選定④	予習	自己の卒論テーマをしぼる。
			復習	テーマの選定をおこなう。
第９回	内容	研究論文等読み合わせ①	予習	配布された資料を読む。
			復習	講義内容を理解する。
第10回	内容	研究論文等読み合わせ②	予習	資料の再読み込み。
			復習	講義内容を理解し資料の再読み込み。
第11回	内容	文献・資料収集①	予習	テーマに関連する文献を探す。
			復習	文献を読む。
第12回	内容	文献・資料収集②	予習	テーマに関する研究論文を探す。
			復習	研究論文を読む。
第13回	内容	文献・資料収集③	予習	文献研究の概要を調べる。
			復習	文献研究の意義と方法について理解する。
第14回	内容	卒論計画の発表会①	予習	自己の卒論計画について考える。
			復習	レジュメ作成。
第15回	内容	卒論計画の発表会②	予習	レジュメ内容確認と配布。
			復習	レジュメの修正。
第16回	内容	論文執筆の関する説明	予習	論文に関して、これまでの学びを再復習。
			復習	講義内容を理解する。
第17回	内容	論文内容の検討と修正①	予習	決定したテーマと構成の確認。
			復習	講義内容を理解する。
第18回	内容	論文内容の検討と修正②	予習	必要な文献の検討と整理。
			復習	講義内容を理解する。
第19回	内容	論文執筆①	予習	論文を書く。
			復習	助言等を活かしながら論文執筆を継続。
第20回	内容	論文執筆②	予習	論文を書く。
			復習	助言等を活かしながら論文執筆を継続。
第21回	内容	論文執筆③	予習	論文を書く。

				復習	助言等を活かしながら論文執筆を継続。
	第 22 回	内容	論文執筆④	予習	論文を書く。
				復習	助言等を活かしながら論文執筆を継続。
	第 23 回	内容	卒論中間発表会	予習	論文を書く。
				復習	助言等を活かしながら論文執筆を継続。
	第 24 回	内容	論文執筆⑤	予習	論文を書く。
				復習	助言等を活かしながら論文執筆を継続。
	第 25 回	内容	論文執筆⑥	予習	論文を書く。
				復習	助言等を活かしながら論文執筆を継続。
	第 26 回	内容	論文執筆⑦	予習	論文を書く。
				復習	助言等を活かしながら論文執筆を継続。
	第 27 回	内容	論文提出	予習	提出の規定を守り、確実に提出する。
				復習	口述試験に備える。
	第 28 回	内容	卒論講評	予習	完成した卒論の熟読。
				復習	講義内容を理解する。
	第 29 回	内容	口述試験準備	予習	レジュメの作成。
				復習	レジュメの修正。
	第 30 回	内容	卒論口述試験	予習	レジュメの完成、配布。
				復習	論文作成を今後に生かすことを考える。
	予習に要する学習時間：概ね 60 分を目安とする。　復習に要する学習時間：概ね 60 分を目安とする。				
課題へのフィードバック	テーマの選定と卒論制作過程および卒論提出後の口述試験を通して必要なフィードバックをおこなう。				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（　）する／（○ ）しない 成績評価の方法：　レポート・課題（60%）、作品・発表（40%）				
教科書	特に指定しない。				
参考文献	随時書籍等を紹介し、必要な資料等を配布する。				
注意事項	論文提出の締め切りは 12 月中旬(予定)、論文提出後、指導教員から修正を求められた場合は、その作業も発表に含み評価を行う。				

科　目　名	総合演習Ⅱ（卒業研究）	単位数	2	実務経験	担当教員	あきやま　ひろこ 秋 山　展子
ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞｺｰﾄﾞ	CHS2228	授業形態	演習			

授　業　の 内　　容	保育、幼児教育に関連する幅広い分野から学生が興味あるテーマを選択し、そのテーマを専門とする専任教員の指導により卒業論文を作成する。 研究テーマとしては、「地域における健全育成」、「現代における子どもの居場所」等のキーワードを中心とする。
到 達 目 標	1．論文の作成方法を習得している。 2．少人数のゼミナール形式で協調性を身につけている 3．論文作成を通して、保育者として必要な専門的知識を習得している。
学位授与方針	幼児教育学科（　　）地域保育学科（　1,5　）文化表現学科（　　）

授 業 計 画					
	第1回	内容	授業の進め方	予習	自分の関心あるテーマを探す
				復習	自身の生活を考える
	第2回	内容	文献による基礎研究	予習	文献を探す
				復習	探した文献をまとめる
	第3回	内容	視聴覚教材による基礎研究	予習	関連資料を探す
				復習	教材から学んだことをまとめる
	第4回	内容	テーマの設定	予習	テーマを考えてくる
				復習	テーマを細かく分解してくる
	第5回	内容	テーマの確定	予習	細分化したテーマを書き出してくる
				復習	テーマについて調べてくる
	第6回	内容	文献・資料の収集方法	予習	テーマに関して検索してくる
				復習	学んだことをプリントにまとめる
	第7回	内容	文献の収集	予習	文献の検索
				復習	収集した文献の整理
	第8回	内容	資料の収集	予習	資料の検索
				復習	収集した資料の整理
	第9回	内容	研究論文の読み方	予習	資料をまとめてくる
				復習	集めた資料・文献を読む
	第10回	内容	調査、研究の方法	予習	読んだ資料をまとめる
				復習	学んだことをプリントにまとめる
	第11回	内容	論文の執筆について	予習	課題論文を読んでくる
				復習	学んだことをプリントにまとめる
	第12回	内容	中間発表 前半グループ	予習	発表用レジュメづくり
				復習	発表の振り返り
	第13回	内容	中間発表 後半グループ	予習	発表用レジュメづくり
				復習	発表の振り返り
	第14回	内容	論文の組み立て	予習	配布プリントを読んでくる
				復習	学んだことをプリントにまとめる
	第15回	内容	研究方法の検討	予習	研究方法の案を考えてくる
				復習	研究方法を練り直す
	第16回	内容	調査票の作り方	予習	先行研究を分析する
				復習	学んだことをプリントにまとめる
	第17回	内容	調査票の作成	予習	論文作成上の疑問を整理する
				復習	論文執筆を進める
	第18回	内容	研究論文の執筆 ①　研究動機	予習	論文作成上の疑問を整理する
				復習	論文執筆を進める
	第19回	内容	研究論文の執筆 ②　用語整理・定義・動向	予習	論文作成上の疑問を整理する
				復習	論文執筆を進める
	第20回	内容	研究論文の執筆 ③　研究調査等	予習	論文作成上の疑問を整理する
				復習	論文執筆を進める

	第 21 回	内容	研究論文の執筆 ④　情報整理	予習	論文作成上の疑問を整理する
				復習	論文執筆を進める
	第 22 回	内容	研究論文の執筆 ⑤　研究内容整理	予習	論文作成上の疑問を整理する
				復習	論文執筆を進める
	第 23 回	内容	研究論文の執筆 ⑥　提出前確認	予習	論文作成上の疑問を整理する
				復習	論文執筆を進める
	第 24 回	内容	中間発表	予習	論文作成上の疑問を整理する
				復習	論文執筆を進める
	第 25 回	内容	論文の修正 ①　形式の整理	予習	論文作成上の疑問を整理する
				復習	論文執筆を進める
	第 26 回	内容	論文の修正 ②　文献の整理	予習	論文作成上の疑問を整理する
				復習	論文執筆を進める
	第 27 回	内容	論文の修正 ③　内容修正	予習	論文作成上の疑問を整理する
				復習	論文をまとめる
	第 28 回	内容	論文発表 準備	予習	論文全体の振り返りを行う
				復習	発表用資料を作成する
	第 29 回	内容	論文発表	予習	論文内容をまとめ発表準備をする
				復習	他者の研究から学んだことをまとめる
	第 30 回	内容	まとめ	予習	論文から今後の生活に生かせる点をまとめる
				復習	論文作成について振り返りをおこなう
	予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。　復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。				
課題へのフィードバック	作成した論文、及び論文を元にした発表の講評を伝える。				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（　　）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法：論文（70%）、発表（20%）、授業態度（10%）				
教科書	なし				
参考文献	なし				
注意事項	なし				

科　目　名	総合演習Ⅱ（卒業研究）	単位数	2	実務経験	担当教員	とねがわ　あきひろ 利根川　彰 博
ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞｺｰﾄﾞ	CHS2228	授業形態	演習			

授業の内容	保育、幼児教育に関連する幅広い分野から学生が興味あるテーマを選択し、そのテーマを専門とする専任教員の指導により卒業論文を作成する。講義は、少人数によるゼミナール形式で行う。論文提出後には発表会を行い、保育者として必要な専門的知識をさらに深める。主な研究テーマとしては、保育内容、保育実践、幼児期の遊び等を中心とする。
到達目標	1. 自分の興味・関心に基づき、研究テーマを見出すことができる。 2. 先行研究を検討し、問題の所在を明確化することができる。 3. テーマに沿ったデータを収集し、考察することができる。 4. 卒業論文の形式を学び、内容を論理的にまとめることができる。
学位授与方針	幼児教育学科（　　）地域保育学科（１，２，５　）文化表現学科（　　）

授業計画

第１回	内容	イントロダクション	予習	シラバスを読んでおく
			復習	一年間の見通しを立てる
第２回	内容	自分の興味・関心のあるテーマの発表	予習	自分の研究テーマを考えておく
			復習	議論を踏まえて、振り返る
第３回	内容	研究論文の読み方	予習	指定された研究論文を読んでおく
			復習	改めて論文を読み直す
第４回	内容	研究のテーマと方法	予習	興味のある研究論文を読んでおく
			復習	研究の方法を整理する
第５回	内容	研究テーマについての講義①	予習	テーマについての文献を読んでおく
			復習	紹介された文献を読む
第６回	内容	研究テーマについての講義②	予習	テーマについての文献を読んでおく
			復習	紹介された文献を読む
第７回	内容	フィールドワーク①	予習	フィールド施設の概要をつかんでおく
			復習	自分の関心に基づいて振り返る
第８回	内容	フィールドワーク②	予習	自分の関心に基づいて観察する視点を定めておく
			復習	自分の関心に基づいて振り返る
第９回	内容	研究テーマの選定	予習	自分の関心あるテーマを探す
			復習	テーマについての文献を読む
第10回	内容	先行研究の検討①	予習	自分のテーマの先行研究を探す
			復習	先行研究を読み、考察する
第11回	内容	先行研究の検討②	予習	自分のテーマの先行研究を探す
			復習	先行研究を読み、考察する
第12回	内容	先行研究の発表	予習	レジュメをつくり発表の準備をする
			復習	発表の振り返りをする
第13回	内容	研究テーマに沿った意見交換	予習	互いの関心を把握しておく
			復習	内容を整理する
第14回	内容	研究の概要整理	予習	自分の研究概要をまとめておく
			復習	内容を整理する
第15回	内容	中間発表①	予習	発表の準備をする
			復習	発表の振り返りをする
第16回	内容	中間発表②	予習	発表の準備をする
			復習	発表の振り返りをする
第17回	内容	研究方法の検討①	予習	目的と方法を確認しておく
			復習	見通しを整理する
第18回	内容	研究方法の検討②	予習	目的と方法を確認しておく
			復習	見通しを整理する
第19回	内容	データ整理①	予習	論文作成のデータを収集しておく
			復習	内容を整理する
第20回	内容	データ整理②	予習	論文作成のデータを収集しておく
			復習	内容を整理する

	第 21 回	内容	データ整理③	予習	論文作成のデータを収集しておく
				復習	内容を整理する
	第 22 回	内容	論文作成①	予習	論文の構成を考えておく
				復習	研究の動機を書く
	第 23 回	内容	論文作成②	予習	論文の構成を考えておく
				復習	目次を書く
	第 24 回	内容	論文作成③	予習	論文作成を進めておく
				復習	考察を進める
	第 25 回	内容	論文作成④	予習	論文作成を進めておく
				復習	指摘を踏まえてまとめる
	第 26 回	内容	論文修正	予習	論文を読み返しチェックする
				復習	仕上げをする
	第 27 回	内容	研究発表準備	予習	自分の論文をまとめておく
				復習	パワーポイントにまとめる
	第 28 回	内容	研究発表会①	予習	発表の準備をする
				復習	発表の振り返りをする
	第 29 回	内容	研究発表会②	予習	発表の準備をする
				復習	発表の振り返りをする
	第 30 回	内容	まとめ	予習	個人としてのまとめをしておく
				復習	意見交換の振り返りをする
	予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。　復習に要する学習時間：概ね 120 分を目安とする。				
課題へのフィードバック	毎回、進捗状況についてのフィードバックを行う				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（　）する／（○）しない 成績評価の方法：　論文（70%）、発表（20%）、授業態度（10%）				
教科書	なし				
参考文献	個別に紹介する				
注意事項	自ら見通しを立て、授業時間外にも進めておくこと。				

科目名	総合演習Ⅱ（卒業研究）	単位数	2	実務経験	担当教員	星野（ほしの） 治（おさむ）
ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞｺｰﾄﾞ	CHS2228	授業形態	演習			

授業の内容	保育、幼児教育に関連する幅広い分野から学生が興味あるテーマを選択し、そのテーマを専門とする専任教員の指導により卒業研究（論文もしくは作品の作成）を行う。 講義は少人数によるゼミナール形式で行われる。 卒業研究成果物の提出後には、各ゼミナール単位での発表会が行われる。
到達目標	1. “保育・幼児教育の専門家”としての将来の自分自身を想定した、「災害サバイバルシミュレーション」の実行を通して、いつ現実化するかわからない災害に遭遇した際の心構えを身に付けている。 2. 上記シミュレーションの結果を、卒業研究の成果物として整理することにより、特に防災の観点からみて保育者に必要とされる知識を身に付けている。
学位授与方針	幼児教育学科（　　）地域保育学科（ 1, 2, 3, 4, 5 ）文化表現学科（　　）

授業計画

第1回	内容	前期ガイダンス 演習の目的や授業の進めかた等々についての説明	予習	シラバス全体に目を通しておく。
			復習	今後一年間の授業の流れを意識し理解する。
第2回	内容	研究の前準備① 大学での学びの意味、ノート作成のノウハウ	予習	参考書の「第0講～第2講」の概要を把握する。
			復習	以後第6回までの授業の流れを把握する。
第3回	内容	研究の前準備② テキストの読みかた、要約のノウハウ	予習	参考書の「第3講～第4講」の概要を把握する。
			復習	授業時に指定された演習を、授業時間内に行う。
第4回	内容	研究の前準備③ 思考展開と意見表明、図書館の利用	予習	参考書の「第5講～第6講」の概要を把握する。
			復習	図書館等で選んだ資料に関する見解を整理する。
第5回	内容	研究の前準備④ レポート・論文の書きかた	予習	参考書の「第7講～第8講」の概要を把握する。
			復習	第4回復習時に整理した見解を文章化する。
第6回	内容	研究の前準備⑤ レジュメの作成、発表	予習	参考書の「第9講～第10講」の概要を把握する。
			復習	第5回復習時の見解に対するレジュメを作る。
第7回	内容	過去の卒業研究例の閲覧 本学科卒業生の論文・作品の鑑賞	予習	第1回授業時の配布資料を熟読する。
			復習	卒業研究のイメージを各自なりに把握する。
第8回	内容	研究の前準備⑥ 既存資料（教員が準備する）の通解	予習	事前に配布された文字資料の概要を把握する。
			復習	取り扱った文字資料に関する見解を文章化する。
第9回	内容	研究の前準備⑦ 既存資料（教員が準備する）の通解	予習	事前に通告された映像資料の概要を把握する。
			復習	取り扱った映像資料に関する見解を文章化する。
第10回	内容	研究の前準備⑧ 既存資料（教員が準備する）の通解	予習	事前に指定された過去の災害の概要を把握する。
			復習	取り扱った災害に関する見解を文章化する。
第11回	内容	研究の前準備⑨ 既存資料（履修者が準備する）の検索	予習	第10回授業時に指示された準備を行う。
			復習	図書館等で既存資料を検索する。
第12回	内容	研究の前準備⑩ 既存資料（履修者が準備する）の内容理解	予習	第11回復習時の検索資料を各自持参する。
			復習	各自が選択した資料を精解して見解を整理する。
第13回	内容	研究の前準備⑪ 既存資料（履修者が準備する）の発表準備	予習	各自が選択した資料に関する見解を文章化する。
			復習	文章化した見解に対するレジュメを作成する。
第14回	内容	研究の前準備⑫ 既存資料（履修者が準備する）の見解発表	予習	第13回復習時に作成したレジュメを持ち寄る。
			復習	他履修者の発表に対する見解を文章化する。
第15回	内容	授業前半（第1回～第14回）のまとめ これまでの演習内容の総括および整理	予習	第14回授業までの配布資料類を概観しておく。
			復習	授業前半部の学習内容を整理し文章化する。
第16回	内容	後期ガイダンス 演習目的の確認、シミュレーションの意義	予習	再度、シラバス全体に目を通しておく。
			復習	今後半年間の授業の流れを意識し理解する。
第17回	内容	研究の前準備⑬ 到達目標を意識した資料（教員が準備する）の通解	予習	前もって配布された文字資料の概要を把握する。
			復習	取り扱った文字資料に関する見解を整理する。
第18回	内容	研究の前準備⑭ 到達目標を意識した資料（教員が準備する）の通解	予習	前もって通告された映像資料の概要を把握する。
			復習	取り扱った映像資料に関する見解を整理する。
第19回	内容	研究の前準備⑮ 到達目標を意識した資料（教員が準備する）の通解	予習	事前に示された過去の防災例の概要を把握する。
			復習	過去の防災例に関する各自の見解を整理する。
第20回	内容	研究の前準備⑯ シミュレーションの概要	予習	前もって配布された資料類に目を通しておく。
			復習	シミュレーションの目的や意義を理解する。

	第 21 回	内容	研究の前準備⑰ シミュレーションの条件設定	予習	第 20 回授業時の指示内容について理解する。
				復習	シミュレーションの条件設定を各自で行う。
	第 22 回	内容	研究の前準備⑱ シミュレーションの実施	予習	第 21 回復習時の条件設定を持ち寄る。
				復習	シミュレーションの実行結果を整理する。
	第 23 回	内容	卒業研究① 本番シミュレーションのための準備	予習	シミュレーションの実施方法を再度確認する。
				復習	シミュレーションの詳細な条件設定を行う。
	第 24 回	内容	卒業研究② 本番シミュレーションの開始	予習	第 23 回復習時の条件設定を持ち寄る。
				復習	シミュレーションを実施し、条件設定を見直す。
	第 25 回	内容	卒業研究③ 本番シミュレーションの継続	予習	第 24 回シミュレーションの結果や見直された条件設定を持ち寄る。
				復習	シミュレーションを再実施し、全体の内容および結果をより一層充実させる。
	第 26 回	内容	卒業研究④ 本場シミュレーション結果の中間発表	予習	第 25 回復習時のシミュレーション結果に関して整理し、発表できるようにしておく。
				復習	他の履修者のシミュレーション結果を参考にして、各自のシミュレーションを増補改訂する。
	第 27 回	内容	卒業研究⑤ 本番シミュレーションの完成	予習	第 26 回のシミュレーション結果およびそれに対する各自の見解を整理する。
				復習	各自のシミュレーションの決定版を完成する。
	第 28 回	内容	卒業研究⑥ 卒業研究成果物の作成	予習	各自のシミュレーションの決定版を持ち寄る。
				復習	各自のシミュレーションの決定版を所定の様式で卒業研究成果物に仕上げ、大学あて提出する。
	第 29 回	内容	卒業研究⑦ 各自の研究発表および質疑応答	予習	提出済み成果物に対するレジュメを作成し、持ち寄る。
				復習	自他のシミュレーションに対する各自の見解を文章化する。
	第 30 回	内容	全体のまとめ 通年の演習内容の総括および整理	予習	授業開始以後のすべての配布物や各自の卒業研究に再度、目を通しておく。
				復習	幼児教育・保育に対する本授業の学習意義を文章化して、提出する。
	予習に要する学習時間：概ね３０分を目安とする。　復習に要する学習時間：概ね３０分を目安とする。				
課題へのフィードバック	資料類の通解を行う際、必要な確認テストおよび解説を行う。 履修者各自の見解を文章化したもの（レポート、レジュメ、その他）は随時提出が求められ、必要な添削指導を経て再度返却される。				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（　）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法：　レポート・課題（７０％）、作品・発表（２０％）、授業態度（１０％）				
教科書	『大学基礎講座　改増版　充実した大学生活を送るために』（藤田哲也ほか、北大路書房） 注意：上記テキストは、一年生向け授業「地域保育基礎講座」で使ったものを再利用する（所持している場合は再購入しなくてよい）。				
参考文献	必要に応じて随時紹介する。				
注意事項	1. 他の授業と同じく、無断欠席や無断遅刻、無断早退などの「無断～」な言動は厳禁とする。 2. 上記「授業計画」に示す授業のうち第２回～第６回の授業は、教科書の内容に即して開講する。 3. 架空イベントの詳細を頭の中で想起し整理するには、豊かな想像力および強い精神力が求められる。 4. 卒業研究成果物（本番シミュレーション結果）は、「作品」として扱われる。 5. 提出期限後に成果物の修正を求められた場合、その修正作業に対する評価は「発表」に含まれる。				

科目名	総合演習Ⅱ（卒業研究）	単位数	2	実務経験	担当教員	しんど　のぶゆき 新戸　信之
ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞｺｰﾄﾞ	CHS2228	授業形態	演習			

授業の内容	保育、幼児教育に関連する幅広い分野から学生が興味あるテーマを選択し、そのテーマを専門とする専任教員の指導により卒業論文を作成する。講義は、少人数によるゼミナール形式で行われる。また、論文提出後には発表会が行われる。このことを通じ、保育者として必要な専門的知識をさらに深める。研究テーマとしては、「レクリエーション」「運動」「遊び」「幼児体育」「野外体験活動」「指導方法」「保育現場」がキーワードとなる。
到達目標	1. 論文を完成させる。 2. 論文作成に必要なスキルを身につける。
学位授与方針	幼児教育学科（　　）地域保育学科（　2,3　）文化表現学科（　　）

授業計画

第1回	内容	講義の方針と年間計画、研究テーマの選定について	予習	興味・関心のある事項を洗い出す
			復習	興味・関心のある事項を整理する
第2回	内容	研究テーマの選定①	予習	子どもを取り巻く環境、子どもが抱える問題に対する考えをまとめる
			復習	興味・関心のある事項と、子どもに対する考えとの接点を模索する
第3回	内容	研究テーマの決定、発表	予習	関心事と子どもとの関係についてまとめる
			復習	授業の内容を咀嚼し、まとめる
第4回	内容	資料収集、文献調査①	予習	文献検索のキーワードを考える
			復習	文献の情報をまとめる
第5回	内容	資料収集、文献調査②	予習	検索した文献を読む
			復習	文献の情報をまとめる
第6回	内容	資料収集、文献調査③	予習	検索した文献を読む
			復習	文献の情報をまとめる
第7回	内容	資料収集、文献調査④	予習	検索した文献を読む
			復習	文献の情報をまとめる
第8回	内容	資料収集、文献調査⑤	予習	検索した文献を読む
			復習	文献の情報をまとめる
第9回	内容	研究デザインの検討・決定①	予習	収集した文献の研究デザインを概観する
			復習	自分の研究に近いデザインの研究を探す
第10回	内容	保育園見学	予習	試したい遊びを用意
			復習	気づいた点についてまとめる
第11回	内容	研究デザインの検討・決定②	予習	研究全体の“ストーリー”をイメージする
			復習	アドバイスを元に“ストーリー”をまとめる
第12回	内容	文体、表現について	予習	文体・表現を意識して、興味のある研究論文を読む
			復習	過去のレポート等を添削する
第13回	内容	執筆トレーニング	予習	研究の動機、問題の背景、目的など、研究テーマに関する事柄を整理する
			復習	文体、表現の確認
第14回	内容	先行研究の発表	予習	先行研究の概要をまとめる
			復習	指導、アドバイスされた点をまとめる
第15回	内容	調査方法、データ処理について	予習	収集した文献の「方法」に目を通す
			復習	自分の研究に適した方法についてまとめる
第16回	内容	中間発表①	予習	発表資料の作成
			復習	方向性の確定とリスケジュール
第17回	内容	中間発表②	予習	発表資料の作成
			復習	方向性の確定とリスケジュール
第18回	内容	論文の執筆①	予習	研究の背景と目的を再確認
			復習	論文の執筆
第19回	内容	論文の執筆②	予習	添削箇所の確認、修正
			復習	論文の執筆
			予習	添削箇所の確認、修正

	第 20 回	内容	論文の執筆③	復習	論文の執筆
	第 21 回	内容	論文の執筆④	予習	添削箇所の確認、修正
				復習	論文の執筆
	第 22 回	内容	論文の執筆⑤	予習	添削箇所の確認、修正
				復習	論文の執筆
	第 23 回	内容	論文の執筆⑥	予習	添削箇所の確認、修正
				復習	論文の執筆
	第 24 回	内容	論文の執筆⑦	予習	添削箇所の確認、修正
				復習	論文の執筆
	第 25 回	内容	論文の完成①	予習	添削箇所の確認、修正
				復習	論文の執筆
	第 26 回	内容	論文の完成②	予習	体裁の確認
				復習	細部の確認
	第 27 回	内容	発表資料の作成①	予習	論文のポイントとなる箇所の当たりを付ける
				復習	パワーポイントデータ作成
	第 28 回	内容	発表資料の作成②	予習	パワーポイントデータ作成
				復習	パワーポイントデータ作成
	第 29 回	内容	論文発表	予習	リハーサルをする
				復習	感想、コメントの内容についてまとめる
	第 30 回	内容	まとめ	予習	他のゼミ生の論文を読む
				復習	自己評価
	予習に要する学習時間：概ね６０分を目安とする。　復習に要する学習時間：概ね６０分を目安とする。				
課題へのフィードバック	随時検証し、解説をする。				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（　　）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法：レポート・課題（２０％）、作品・発表（５０％）、授業態度（３０％）				
教科書	なし				
参考文献	なし				
注意事項	好奇心と遊び心を持ちつつも、真面目でストイックな取り組みを求めます。 授業時間だけで論文を完成させることは不可能です。				

科　目　名	保育原理Ⅱ	単 位 数	2	実務経験	担当教員	まつなが　しずこ 松永　静子
ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞｺｰﾄﾞ	EDU2215	授業形態	講義			

授　業　の 内　　容	保育原理Ⅰでの学びを踏まえ、以下の内容を中心に学ぶ。 1.　保育の思想と歴史 2.　多様な保育の実践（国内外の実践や子ども主体の保育実践から学ぶ） 3.　保育所や幼稚園、認定こども園、地域保育型施設、認可外保育施設の現状や課題 4.　現在の子どもや保護者を取り巻く課題
到 達 目 標	１．保育の思想と歴史について基礎的な知識を理解している。 ２．国内外での保育の実践・内容や方法から子どもを主体に保育をする「意味」を理解する。 ３．保育所や幼稚園、認定こども園、地域保育型施設、認可外保育施設の現状や課題を理解している。 ４．保育の様々な課題について主体的に学ぶ姿勢を身につけている。
学位授与方針	幼児教育学科（　　）地域保育学科（1・2・3・4・5）文化表現学科（　　）

授 業 計 画

第１回	内容	授業オリエンテーション　ＤＶＤを鑑賞し、「子ども」について考える	予習	要領・指針を読む
			復習	子どもについて学びを振り返る
第２回	内容	保育所保育指針の改定のポイントと 10 の姿とは	予習	保育指針を読む
			復習	１０に姿を振り返る
第３回	内容	実習日誌から 10 の姿を検討する	予習	実習日誌記録を読む
			復習	１０の姿を振り返る
第４回	内容	保育の思想と歴史（日本における流れを中心に）倉橋　惣三の著作を読んでみる	予習	倉橋惣三著作を読む
			復習	倉橋惣三を振り返る
第５回	内容	保育の思想と歴史（日本における流れを中心に）佐伯　胖の著作を読んでみる	予習	佐伯の著作を読む
			復習	佐伯を振り返る
第６回	内容	レッジョ・エミリアアプローチから子ども主体の保育を学ぶ	予習	レッジョエミリアアプローチの資料収集
			復習	学びを振り返る
第７回	内容	日本の中での子ども主体の保育実践の事例から学ぶ（保育園現場の保育者の報告予定）	予習	事例集を読む
			復習	学びを振り返る
第８回	内容	日本の中での子ども主体の保育実践の事例から学ぶ（幼稚園現場の保育者の報告予定）	予習	事例集を読む
			復習	学びを振り返る
第９回	内容	夜間保育（延長保育など）について学ぶ（ＤＶＤ）	予習	資料を収集する
			復習	学びを振り返る
第 10 回	内容	認定こども園の保育について学ぶ（ＤＶＤ）	予習	資料を収集する
			復習	学びを振り返る
第 11 回	内容	認証保育所について学ぶ（現場の園長の報告予定）	予習	資料を収集する
			復習	学びを振り返る
第 12 回	内容	子ども哲学から子どもについて考え、子ども観を深める（外部講師）	予習	資料を収集する
			復習	学びを振り返る
第 13 回	内容	子どもを取り巻く現状と課題③熊本慈恵病院「こうのとりのゆりかご」、緊急的な状況にある女性への支援と子どもの権利	予習	資料を収集する
			復習	学びを振り返る
第 14 回	内容	子どもを取り巻く現状と課題④１人親家庭や外国籍の保護者など多様な家庭への支援	予習	資料を収集する
			復習	学びを振り返る
第 15 回	内容	まとめ	予習	本授業のまとめをする
			復習	本授業の学びを振り返る

予習に要する学習時間：概ね９０分を目安とする。　復習に要する学習時間：概ね９０分を目安とする。

課題へのフィードバック	レポートを返却し、解説する。
成績評価	試験期間における定期試験：　実施（　）する／（〇）しない 成績評価の方法：　レポート・課題（８０％）、授業態度（２０％）
教科書	なし
参考文献	授業において紹介する。
注意事項	

科目名	保育の心理学	単位数	1	実務経験	担当教員	いとう　あきよし 伊藤　明芳
ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞｺｰﾄﾞ	EDP2221	授業形態	演習			

授業の内容	本講義では、講義「発達心理学」の内容を踏まえて、発達心理学と教育心理学等の基礎的知識の拡充と現場で生きる実践的能力の応用を図ることを目的とする。保育方法の工夫への手立て、家庭や保護者との関わり、保育者自身の心の安定と成長等にもアプローチしたいと考えている。
到達目標	1. 発達心理学、教育心理学等の基本的および発展的知識を正確に習得する。 2. 学んだ知識を活用して、実際の保育現場の子どもの心の発達等について考えられる力を身につける。 3. 学んだ知識を子育て支援に活かすことができる。
学位授与方針	幼児教育学科（　　）地域保育学科（　1,4,5　　）文化表現学科（　　）

授業計画

第1回	内容	イントロダクション	予習	シラバスを読み、授業計画を把握する。
			復習	授業内容と評価方法について理解する。
第2回	内容	保育の心理学の基礎①［発達理論の復習］	予習	発達理論について調べる。
			復習	発達理論について理解し整理する。
第3回	内容	保育の心理学の基礎②［発達理論の応用］	予習	その他の発達理論について調べる。
			復習	発達理論について理解し整理する。
第4回	内容	保育の心理学の基礎③［教育心理学理論等の復習］	予習	教育心理学の理論等について調べる。
			復習	教育心理学の理論等について理解し整理する。
第5回	内容	保育の心理学の基礎③［教育心理学理論等の復習］	予習	その他の教育心理学の理論等について調べる。
			復習	教育心理学の理論等について理解し整理する。
第6回	内容	知的機能	予習	知的機能について調べる。
			復習	知的機能について理解し整理する。
第7回	内容	情緒	予習	情緒について調べる。
			復習	情緒について理解し整理する。
第8回	内容	社会性	予習	社会性について調べる。
			復習	社会性について調べる。
第9回	内容	発達障害［発達障害とは何か］①	予習	発達障害について調べる。
			復習	発達障害について理解し整理する。
第10回	内容	発達障害［発達障害の種類］②	予習	発達障害について理解し整理する。
			復習	発達障害の種類について理解し整理する。
第11回	内容	発達障害［発達障害への対応］③	予習	発達障害への対応について調べる。
			復習	発達障害への対応について理解し整理する。
第12回	内容	子どもの発達への関わりと保育方法の工夫	予習	子どもの発達について調べる。
			復習	発達への関わりと工夫について理解し整理する。
第13回	内容	家庭、保護者、他機関等との連携	予習	連携について調べる。
			復習	他者・他機関との連携について理解し整理する。
第14回	内容	保育者自身の心の健康	予習	心の健康について調べる。
			復習	心の健康について調べる。
第15回	内容	まとめと今後へのアドバイス	予習	本講義全体の学びと疑問点を整理する。
			復習	学んだ知見の活用について考察をする。

予習に要する学習時間：概ね15分を目安とする。　復習に要する学習時間：概ね45分を目安とする。

課題へのフィードバック	授業内容、試験のコメントをおこなう。
成績評価	試験期間における定期試験：実施（○ ）する／（　 ）しない 成績評価の方法：　筆記試験（60%）、授業態度（40%）
教科書	越智幸一(編)(2015).　発達心理学　大学図書出版
参考文献	講義の中で必要に応じて適宜紹介する。
注意事項	講義を中心におこなう。実際の事例などをあげ、受講生にわかりやすい内容を心がけたい。その他、事例研究やビデオ視聴等で理解を深め、さまざまな知見等を保育の実践に活かすことを考える。受講者には自ら学び考える意欲をもって授業に参加する態度が求められる。

科　目　名	子どもの保健Ⅱ	単 位 数	1	実務経験	担当教員	みた　のりこ 味田　徳子
ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞｺｰﾄﾞ	AHS2221	授業形態	演習			

授　業　の 内　　容	子どもの心と身体の健康を保持・増進するための保健活動について「子どもの保健Ⅰ」で得た知識を実践できるように演習を重ね、習得することを目的とする。 保育のための養護技術、体調不良時の対応やケガの応急手当等の保健的な内容及び保健管理の方法について演習を通して理解を深める。
到 達 目 標	1. 子どもの健康状態の評価ができる。 2. 演習を通して、保育の現場で活かせる技術を身につけている。 3. 病気や事故発生時など、緊急時の対応ができる。 4. 集団保育における環境と安全対策を理解している。
学位授与方針	幼児教育学科（　　）地域保育学科（　1.2.3.4.5　）文化表現学科（　　）

授 業 計 画					
	第１回	内容	子どもの保健に関する演習について オリエンテーション 演習に臨む姿勢、課題説明	予習	シラバスを読んでおく
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する
	第２回	内容	子どもの発育・発達の観察と評価① 発育・発達	予習	子どもの発育発達について確認しておく
				復習	発育の標準値についてまとめる
	第３回	内容	子どもの発育・発達の観察と評価② 計測・評価	予習	計測方法について確認しておく
				復習	分析評価の方法を理解する
	第４回	内容	子どもの健康観察と健康管理 バイタルサイン測定	予習	バイタルサイン測定方法について確認しておく
				復習	健康状態を把握するポイントについてまとめる
	第５回	内容	子どもの養護と教育① 抱っこ、おんぶ、オムツ交換	予習	布オムツ・紙オムツの利点と欠点について調べる
				復習	オムツ交換時のポイントについてまとめる
	第６回	内容	子どもの養護と教育② 沐浴、衣類の着脱、鼻・耳のケア	予習	子どもの清潔を保つ方法について考える
				復習	沐浴の手順についてまとめる
	第７回	内容	＝　実技試験　＝ 清潔（手洗い、歯磨き）ポスター作成	予習	寝衣、オムツ交換の手順について確認しておく
				復習	寝衣、オムツ交換の手順についてまとめる
	第８回	内容	子どもの体調不良などへの対応　① 主な症状への対応(罨法、汚物処理、体位)	予習	子どもの体調不良とはどのような状態か考える
				復習	対応の方法ポイントについてまとめる
	第９回	内容	子どもの体調不良などへの対応　② ・感染症の予防と対策	予習	主な感染症にはどのようなものがあるか調べる
				復習	園や家庭での対応についてまとめる
	第 10 回	内容	子どもの体調不良などへの対応　③ ・個別の配慮を必要とする子どもへの対応	予習	個別対応が必要な疾患について調べる
				復習	発達障害の支援方法についてまとめる
	第 11 回	内容	子どもの生活習慣(睡眠、排泄、栄養) トイレトーニング（映像）	予習	自分自身の生活習慣について考える
				復習	子どもの生活習慣づけの重要性について考える
	第 12 回	内容	子どもと薬（管理、与薬方法） 「お薬依頼表」を書いてみる	予習	自分が使ったことのある薬の内容について調べてみる
				復習	家庭内にある薬を正しく管理する
	第 13 回	内容	保育における応急手当 三角巾、包帯法、創処置、エピペン練習、心肺蘇生	予習	ケガの内容にはどのようなものがあるか考える
				復習	園や家庭での対応についてまとめる
	第 14 回	内容	子どもの心とからだの健康づくりのために ＝　保健だより作成　＝	予習	月に応じた保健計画のテーマについて考える
				復習	作成ポイントについてまとめる
	第 15 回	内容	望ましい保育環境と安全対策 事故報告書、災害への対策と危機管理	予習	園内での事故（内容・状況）について考える
				復習	危機管理体制についてまとめる
	予習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。　復習に要する学習時間：概ね 25 分を目安とする。				

課題へのフィードバック	レポート・課題は採点後、返却する。 実技試験前に試験チェックポイントについて確認し、実施後振り返る。
成績評価	試験期間における定期試験：実施（　）する／（○）しない 成績評価の方法：　レポート・課題（　40%）、実技（　40%）、授業態度（　20%）
教科書	『書名』（著者名、出版社名）　『これだけはおさえたい！保育者のための子どもの保健Ⅱ』(鈴木美枝子編著、創成社)
参考文献	『書名』（著者名、出版社名）　『これならわかる！子どもの保健演習ノート』(小林美由紀編著、診断と治療社)
注意事項	1、演習時は、動きやすい服装、エプロンを着用し、爪・髪などの身だしなみを整えて下さい。 2、演習、準備、後片付けなど主体的に取り組むことで、授業態度における積極性と評価します。

科　目　名	社会的養護	単 位 数	2	実務経験	担当教員	まんどう　あきお 萬 燈　章 雄
ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞｺｰﾄﾞ	SWS2211	授業形態	講義			

授　業　の 内　　容	社会的養護を必要としている子どもたちへの理解を深める。また、社会的養護の支援フレームについて学習するとともに、特有の課題及び特性についても理解する。課題を抱えながら生活する子どもたちに、本来もつ権利を守りながら保育士としてどのように関わり、支援していくのかを学習する。
到 達 目 標	1. 社会的養護を必要としている子どもたちの現状を理解している。 2. 「子どもの最善の利益」とは何かを知り、支援者がどのようなスタンスで望めばよいのかを習得している。 3. 社会的養護に携わる保育士の倫理と責務について身につけている。
学位授与方針	幼児教育学科（　　）地域保育学科（　１・４　）文化表現学科（　　）

授 業 計 画

第１回	内容	オリエンテーション～事例提供 社会的養護に携わる支援者のあり方	予習	シラバスに目を通すこと
			復習	支援者の基本的スタンスについて理解する
第２回	内容	子ども観の変遷と社会的養護の歴史について	予習	こども観とは何かについて調べる
			復習	社会的養護の歴史についてまとめる
第３回	内容	社会的養護の仕組み 児童相談所と「措置」制度について	予習	措置制度について調べる
			復習	児童相談所の機能と役割についてまとめる
第４回	内容	児童福祉施設について 児童福祉法で定める施設について	予習	児童福祉施設の根拠規定について調べる
			復習	児童福祉施設の種類についてまとめる
第５回	内容	里親制度・親権と養子縁組について	予習	里親制度について調べる
			復習	里親や養子縁組制度についてまとめる
第６回	内容	児童虐待と社会的養護 虐待の現状と子どもの気持ち	予習	虐待による重大事件について調べてみる
			復習	被虐待児の気持ちについて考えてみる
第７回	内容	社会的養護実践のための専門的技術について 社会的養護に関わる専門職について	予習	施設の生活について調べておく
			復習	専門的な技術について概要をまとめる
第８回	内容	社会的養護の概念及び仕組みについて 中間まとめ　理解度チェックとレポート	予習	これまでの内容について復習する
			復習	具体的な課題について整理する
第９回	内容	アタッチメントについて 「子どもの安全基地」について	予習	ジョン・ボウルビィについて調べる
			復習	安全基地についてまとめる
第 10 回	内容	ビデオ学習　「真実告知」について 自らの出生について知る権利	予習	ライフストーリーワークについて調べる
			復習	真実告知についてまとめてみる
第 11 回	内容	施設養護と家庭養護 「施設の小規模化」について	予習	施設の小規模化について調べる
			復習	小規模化の特徴についてまとめる
第 12 回	内容	相談援助の方法と技術 主に保育士が現場において必要な技術の概要について	予習	保育所でどんな支援が行われているか調べる
			復習	専門用語・技術についてまとめる
第 13 回	内容	「子どもの最善の利益」と権利擁護 子どもの権利条約批准とその後について	予習	アドボケイトについて調べる
			復習	子どもの権利擁護についてまとめる
第 14 回	内容	演 習 アセスメント（ジェノグラム・エコマップ）の基本と 記録の書き方・情報の整理などについて	予習	ジェノグラムについて調べる
			復習	「情報共有」についてまとめてみる
第 15 回	内容	今後の社会的養護の方向性について 最終まとめ　理解度チェックとレポート	予習	これまでの内容について今一度復習する
			復習	具体的な課題について整理する

予習に要する学習時間：概ね６０分を目安とする。　復習に要する学習時間：概ね１２０分を目安とする。

課題へのフィードバック	作成したレポート、事例整理、中間まとめチェックについてはコメントをつけて原則各自に返却します。 最終まとめチェックについては課題整理に関する具体的資料を配付します。
成績評価	試験期間における定期試験：実施（　）する／（〇）しない 成績評価の方法：　筆記試験（　　%）、レポート・課題（６０%）、作品・発表（　　%）、実技（　　%）、授業態度（４０%）
教科書	『書名』（著者名、出版社名）なし
参考文献	「社会的養護Ⅰ」　相澤　仁・林浩康　編集　中央法規；その他必要に応じて紹介します。
注意事項	授業をとおして子どもの命・生活・権利を守る支援者の基本的スタンスを学んで欲しい。 受講マナーは守り、積極的な参加を期待します。基本、プリント資料配布で授業をすすめます。

科　目　名	相談援助	単 位 数	2	実務経験	担当教員	かたかい　はるお 片 貝　晴夫
ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞｺｰﾄﾞ	SWS2221	授業形態	演習			

授　業　の 内　　容	相談援助において必要な方法な知識及び技術を学び、相談者として自己理解を深め、保育現場において相談援助の理論や方法を活用できる技術を身につけることを狙いとし、具体的な相談援助事例をグループワーク等で討議し、それらの考え方について解説する。
到 達 目 標	１．相談援助の意義、機能、対象を説明することができる。 ２．相談援助の方法、技術を説明することができる。 ３．地域にある社会資源の活用方法を説明することができる。
学位授与方針	幼児教育学科（　　）　地域保育学科（１・２・４・５）　文化表現学科（　　）

授 業 計 画					
	第１回	内容	相談援助とは何か及び保育実践の中で相談援助が必要になった理由を理解する	予習	シラバスを読んでおく
				復習	この科目で修得すべき内容を理解する
	第２回	内容	相談援助の歴史的変遷及び定義と理論を理解する	予習	保護者を取り巻く社会環境を調べる
				復習	診断主義、機能主義の基礎理論をまとめる
	第３回	内容	相談援助における直接援助技術及び間接援助技術を理解する	予習	直接、間接援助について調べる
				復習	直接、間接援助技術の活用場面をまとめる
	第４回	内容	援助技術の理念と価値及びバイステイックのケースワークの７原則を習得する	予習	傾聴について考える
				復習	傾聴と受容のポイントをまとめる
	第５回	内容	相談援助の展開過程を理解する	予習	相談援助の展開過程を調べる
				復習	展開過程のポイントをまとめる
	第６回	内容	相談援助を行う上での倫理及び専門職をしての価値観と倫理を理解する	予習	倫理とは何かを考える
				復習	自分と他人の価値観の違いをまとめる
	第７回	内容	保育場面における直接援助技術（グループワーク）について保護者との関係でその方法を習得する	予習	グループワークについて調べる
				復習	グループワークの効果についてまとめる
	第８回	内容	相談援助における記録について具体的な書き方を習得する	予習	記録について調べる
				復習	記録作成時のポイントをもとめる
	第９回	内容	地域にある社会資源の活用及び具体的な社会資源を理解する。	予習	地域にある社会資源を調べる
				復習	社会資源の活用方法をまとめる
	第10回	内容	事例研究　傾聴と受容の実際（育児不安）　その１	予習	育児不安及び育児ストレスについて調べる
				復習	傾聴と受容の効果をまとめる
	第11回	内容	事例研究　傾聴と受容の実際（母子関係）　その２	予習	母親の自立について考える
				復習	傾聴と受容の効果をまとめる
	第12回	内容	事例研究　傾聴と受容の実際（分離不安）　その３	予習	母子分離について考える
				復習	傾聴と受容の効果をまとめる
	第13回	内容	自己覚知とスパービジョンの方法と技法の習得	予習	自己覚知について調べる
				復習	スーパービジョンの技法をまとめる
	第14回	内容	保育場面でのソーシャルワークの活用の実際	予習	ソーシャルワークについて調べる
				復習	関係機関との連携についてまとめる
	第15回	内容	相談援助における課題及びまとめ	予習	保護者が相談しやすい環境を考える
				復習	傾聴や受容の意義をまとめる
	予習に要する学習時間：概ね１５分を目安とする。　復習に要する学習時間：概ね４５分を目安とする。				

課題へのフィードバック	作成したレポートを解説説明する。
成績評価	試験期間における定期試験：実施（　）する／（〇）しない 成績評価の方法：　レポート・課題（６０％）、授業態度（４０％）
教科書	『子どもたちの生活を支える相談援助』　（小野澤昇他編著）　ミネルヴァ書房
参考文献	その都度提示する
注意事項	授業中スマホはバック等に保管する

科目名	家庭支援論	単位数	2	実務経験	担当教員	きたざわ　あきこ 北澤　明子
ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞｺｰﾄﾞ	SWS2213	授業形態	講義			

授業の内容	家族、家庭のあり方が変化し、多様化した現在、保育者は家庭や地域と連携しながら、子育てを支援していくことが求められている。本講では、子育てにおける「家庭支援」の背景や目的を学ぶとともに家庭のニーズに応じた多様な支援の展開について知り、保育者として必要な支援の基本について学んでいく。
到達目標	1.　家庭の意義とその機能について理解し、説明することができる。 2. 現在の子育て家庭を取り巻く環境について理解し、どのような支援が必要かを考えることができる。 3. 子育て支援の法的根拠や支援政策について説明することができる。 4.　子育て支援の実際について理解し、今後どのような支援をしていきたいか考えることができる。
学位授与方針	幼児教育学科（　　）地域保育学科（　１，４　）文化表現学科（　　）

授業計画

第１回	内容	**オリエンテーションー授業の進め方等ー**	予習	シラバスを読んでくる
			復習	ビデオの内容・感想をまとめる
第２回	内容	**家庭の意義と機能**	予習	自分が思う「家族」について考えてくる
			復習	「家族」と「家庭」の違いについて復習する
第３回	内容	**家族・家庭・子育ての歴史①ー江戸・明治ー**	予習	教科書の第１章を読んでくる
			復習	歴史について復習しまとめる
第４回	内容	**家族・家庭・子育ての歴史②ー昭和から現在までー**	予習	江戸から明治までの歴史の振り返りをする
			復習	家族・家庭の歴史について自分なりにまとめる
第５回	内容	**現在の家庭を取り巻く状況①ー図からの読み取りー**	予習	現在の家族について知っている内容を箇条書きにする
			復習	読み取った内容をまとめる
第６回	内容	**現在の家庭を取り巻く状況②ー読み取ったことから必要な支援について考えるー**	予習	読み取った内容のまとめを読んでくる
			復習	自分の考える必要な支援についてまとめる
第７回	内容	**子育て家庭への支援の必要性**	予習	第６回までの配布資料に目を通してくる
			復習	子育て家庭への支援がなぜ必要か考えをまとめる
第８回	内容	**現在の子どもを取り巻く状況**	予習	レポート課題をまとめる
			復習	レポート課題をまとめる
第９回	内容	**子育て支援の法的根拠**	予習	関連のありそうな新聞記事やニュースなどを探す
			復習	法的根拠について配布資料を読み返す
第 10 回	内容	**我が国の子育て支援・政策**	予習	少子化社会対策白書（配布）の関連部分を読む
			復習	わが国の子育て支援・政策について資料を読む
第 11 回	内容	**子育て支援の実際①ー保育所・幼稚園における子育て支援の取組ー**	予習	実習で経験した内容について箇条書きにする
			復習	実際の支援の内容や専門性についてまとめる
第 12 回	内容	**子育て支援の実際②ー地域における子育て支援の取組ー**	予習	自分の地域における子育て支援について調べる
			復習	自分で調べたものと照らし合わせながら復習する
第 13 回	内容	**子育て支援の実際③ーその他ー**	予習	レポート課題をまとめる
			復習	レポート課題をまとめる
第 14 回	内容	**保育の場における具体的な事例紹介と事例検討**	予習	連絡帳の書式を調べてくる
			復習	具体的な事例の対応についてまとめる
第 15 回	内容	**まとめー子どもを産むこと、育てることー**	予習	切れ目のない支援についてかんがえまとめてくる
			復習	ビデオの感想を書く

予習に要する学習時間：概ね　60　分を目安とする。　復習に要する学習時間：概ね１２０　　分を目安とする。

課題へのフィードバック	レポートを返却し、採点のポイントについて解説する。
成績評価	試験期間における定期試験：実施（　）する／（　○　）しない 成績評価の方法：　筆記試験（　　%）、レポート・課題（　80　%）、作品・発表（　　%）、実技（　　%）、授業態度（　20　%）
教科書	毎時間、資料を配布する。
参考文献	『家庭支援論の基本と課題』（井村圭壮他、学文社）
注意事項	・必要な資料を授業内で配布するので配布された資料はファイリングして毎回授業に持参すること。

科目名	障害児保育	単位数	2	実務経験	担当教員	さいとう　かずよし 齊藤　和良
ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞｺｰﾄﾞ	SNE2221	授業形態	演習			

授業の内容	本講義では、障害児保育の基本理念と意義を紹介し、視覚障害、聴覚障害、知的障害や発達障害などの各障害の原因や特性及び保育上の留意点について講義する。さらに障害児の援助方法や家庭支援、医療や福祉などの関係機関との連携の在り方について述べる。
到達目標	1.障害児保育を支える理念や歴史的変遷について学び、障害児及びその保育について理解している。 2. 様々な障害について理解し、子どもの理解や援助の方法、環境構成等について工夫できる。 3.障害のある子どもの保護者への支援や関係機関との連携について理解している。 4.障害のある子どもの保育にかかわる保健・医療・福祉・教育等の現状と課題について理解している。
学位授与方針	幼児教育学科（　　）地域保育学科（　1,2,4　）文化表現学科（　　）

授業計画

第1回	内容	オリエンテーション　障害児保育とは	予習	シラバスを読んでおくこと
			復習	障害児保育の目的と概要について復習する
第2回	内容	障害とは、障害の概念、各障害の定義と分類	予習	障害のとらえ方について調べる
			復習	障害についてまとめる
第3回	内容	障害児・者の歴史的変遷と障害児の保育・教育	予習	障害児保育の歩みについて調べる
			復習	障害者の歴史的変遷についてまとめる
第4回	内容	障害児保育を支える理念 ノーマライゼーション、統合保育、インクルージョン	予習	ノーマライゼーションについて調べる
			復習	インテグレーションについてまとめる
第5回	内容	障害児保育の意義と基本 障害児と健常児共に育つことの意味	予習	障害児保育の専門性について調べる
			復習	障害児保育の意義についてまとめる
第6回	内容	特別支援教育・障害児保育の対象 特別支援教育の対象と目的、教育の場	予習	乳幼児と障害について調べる
			復習	乳幼児における障害特性についてまとめる
第7回	内容	視覚障害児の理解と援助 視覚障害の定義と分類、視覚障害児の心理的特徴	予習	視覚障害について調べる
			復習	視覚障害児の特性についてまとめる
第8回	内容	聴覚障害児の理解と援助 聴覚障害の定義と分類、聴覚障害児の心理的援助	予習	聴覚障害について調べる
			復習	聴覚障害の特性についてまとめる
第9回	内容	肢体不自由児の理解と援助 肢体不自由児の分類と原因、脳性まひ児の分類	予習	肢体不自由について調べる
			復習	肢体不自由の特性についてまとめる
第10回	内容	知的障害児の理解と援助 ① 知能指数とは、　知的障害の定義・分類・原因	予習	知的障害について調べる
			復習	知的障害の特性についてまとめる
第11回	内容	知的障害児の理解と援助 ② 知的障害児に対する支援	予習	知的障害の支援について調べる
			復習	知的障害の支援についてまとめる
第12回	内容	言語障害児の理解と援助 言語障害の定義と分類、言語指導	予習	言語障害について調べる
			復習	言語障害の特性についてまとめる
第13回	内容	情緒障害児の理解と援助 ① 情緒障害の分類、選択性緘黙症やチックの心理的特徴	予習	選択性緘黙について調べる
			復習	情緒障害の分類についてまとめる
第14回	内容	情緒障害児の理解と援助 ② 外傷性ストレス障害(PTSD)の心理的特徴	予習	外傷性ストレス障害（PTSD）について調べる
			復習	児童虐待と PTSD の関係をまとめる
第15回	内容	前期のまとめ	予習	前期確認テストの予習
			復習	確認テストの解説
第16回	内容	発達障害児の理解と援助 ① 広汎性発達障害の分類・定義・心理的特徴	予習	自閉症について調べる
			復習	広汎性発達障害をまとめる
第17回	内容	発達障害児の理解と援助 ② 学習障害(LD) の分類・定義・心理的特徴	予習	自閉症スペクトラム障害にいて調べる
			復習	学習障害（LD）の特性についてまとめる
第18回	内容	発達障害児の理解と援助 ③ 注意欠陥多動性障害(ADHD)の定義と特徴	予習	注意欠陥多動性障害（ADHD）について調べる
			復習	注意欠陥多動性障害の特徴についてまとめる
第19回	内容	病弱、身体虚弱児の理解と援助 病弱・身体虚弱の定義、病弱児の心理的特徴と支援	予習	病弱児について調べる
			復習	病弱と身体虚弱についてまとめる
第20回	内容	障害児をもつ親の理解と家庭支援 ① 障害児の親の受容と受容過程、養育態度	予習	障害の受容について調べる
			復習	障害の受容過程についてまとめる

	第 21 回	内容	障害児をもつ親の理解と家庭支援 ② 家庭保育と家族に対する支援	予習	親への支援について調べる
				復習	家庭保育の状況についてまとめる
	第 22 回	内容	障害児をもつ親の理解と家庭支援 ③ 地域の専門機関等との連携	予習	地域の専門機関について調べる
				復習	地域の専門機関についてまとめる
	第 23 回	内容	障害児保育の実際 ① 障害児保育の目標とその形態	予習	発達保障について調べる
				復習	イインクルーシブ保育についてまとめる
	第 24 回	内容	障害児保育の実際 ② 保育所・幼稚園での支援体制とは	予習	障害児の支援体制を調べる
				復習	保育所・幼稚園の支援体制についてまとめる
	第 25 回	内容	障害児保育の実際 ③ ケースカンファレンスと保育の評価	予習	ケースカンファレンスについて調べる
				復習	ケースカンファレンスの内容をまとめる
	第 26 回	内容	障害児保育の実際 ④ 行動観察による子どもの理解	予習	アセスメントについて調べる
				復習	行動観察の方法をまとめる
	第 27 回	内容	障害児保育の実際 ⑤ 客観的評価による子どもの理解（スクリーニング検査	予習	スクリーニング検査について調べる
				復習	客観的評価についてまとめる
	第 28 回	内容	障害児保育の実際 ⑥ 心理検査による子どもの理解（発達検査・言語検査など	予習	心理検査について調べる
				復習	心理検査の種類と適用をまとめる
	第 29 回	内容	障害児保育にかかわる現状と課題 保健・医療・福祉・教育における現状と課題	予習	障害児保育の現状について調べる
				復習	障害児保育の課題についてまとめる
	第 30 回	内容	障害児保育の今後のあり方 全体のまとめ	予習	確認テストの予習
				復習	本授業全体をまとめる
	予習に要する学習時間：概ね 45 分を目安とする。　復習に要する学習時間：概ね 45 分を目安とする。				
課題へのフィードバック	小テスト及びレポートを返却し、次回の授業につなげる。				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（　）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法：　筆記試験（ 50 %)、レポート・課題（ 20 %)、作品・発表（　%)、実技（　%)、授業態度（ 30 %）				
教科書	『新基本保育シリーズ　障害児保育』(監修　児童育成協会　西村重稀・水田敏郎 著、中央法規)				
参考文献	『よくわかる障害児保育』(尾崎康子・小林真・水内豊和・阿部美穂子 箸、ミネルヴァ書房)				
注意事項	授業中の私語・携帯電話等の使用・飲食は厳禁。授業への積極的な取り組みを期待する。				

科　目　名	社会的養護内容	単 位 数	1	実務経験	担当教員	まんどう　あきお 萬 燈　章 雄
ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞｺｰﾄﾞ	SWS2223	授業形態	演習			

授　業　の 内　　容	社会的養護を必要としている子どもたちの現状と支援について学ぶ。実践力を学習できるよう事例研究を通して支援の方法を考えていきたい。また、支援するスタッフとしてどのような姿勢で望むことが必要なのか、倫理や責務についても学ぶ。処遇の結論よりもそれを導き出していくプロセスに重点を置いて学習する。
到 達 目 標	1. アセスメントから支援方法まで事例を通してそのプロセスを理解している。 2. 様々なケースに応じてどのように対応していくのかを理解している。 3. より困難な場面においても、社会的養護に携わる保育士の職務と倫理に従い行動できることを身につけている。
学位授与方針	幼児教育学科（　　）地域保育学科（２・４）文化表現学科（　　）

授 業 計 画

第１回	内容	オリエンテーション～ 演習Ⅰ　ある施設に就職した友人の愚痴	予習	シラバスに目を通しておくこと
			復習	事例検討の方法についてまとめる
第２回	内容	演習Ⅱ　障害児入所施設の事例 「障害受容」と母親の気持ちを理解する	予習	障害児者施設体系について調べる
			復習	障害受容についてまとめる
第３回	内容	演習Ⅲ　発達障害児への対応事例（学童保育所・保育所）　失敗をする権利について	予習	発達障害について調べる
			復習	障害児者の権利についてまとめる
第４回	内容	演習Ⅳ　養育不安のある家庭への支援について（保育所・幼稚園）　マルトリートメントについて	予習	不適切養育について調べる
			復習	地域での連携した支援についてまとめる
第５回	内容	演習Ⅴ　被虐待児への支援について（保育所・幼稚園）愛着に問題がある子への処遇について	予習	虐待のサインについて調べる
			復習	愛着障害についてまとめる
第６回	内容	演習Ⅵ　乳児院から養護施設へ 「愛着の移行」について	予習	社会的養護に必要な施設について調べる
			復習	「措置変更」についてまとめる
第７回	内容	演習Ⅶ　日常生活支援（児童養護施設） 入所支援。アドミッションケアについて	予習	「親子分離」について調べる
			復習	施設入所時の子ども支援についてまとめる
第８回	内容	演習Ⅷ　日常生活支援（児童養護施設） インケアについて	予習	児童養護施設での生活について調べる
			復習	日々の生活支援について留意点をまとめる
第９回	内容	演習Ⅸ　乳児院から里親へ　委託のプロセスや、施設のスタッフとしての支援のあり方など	予習	里親制度について調べる
			復習	里親委託の留意点についてまとめる
第 10 回	内容	演習Ⅹ①　自分の出生を知る権利（児童養護施設・里親）　ルーツを知る権利について	予習	ライフストーリーワークについて調べる
			復習	事例についてアセスメントしてみる
第 11 回	内容	演習Ⅹ②　自分の出生を知る権利（児童養護施設・里親）　グループ作業	予習	真実告知について調べる
			復習	ルーツを知る権利についてまとめる
第 12 回	内容	ＤＶＤ学習（児童養護施設） 被虐待児のリービングケアについて	予習	リービングケアについて調べる
			復習	施設退所支援についてまとめる
第 13 回	内容	演習Ⅺ①　子どもの自立支援について（児童養護施設）　事例に基づくアセスメント	予習	自立支援計画について調べる
			復習	事例についてアセスメントしてみる
第 14 回	内容	演習Ⅺ②　子どもの自立支援について 自立支援計画を作成する	予習	指導方針を立ててみる
			復習	施設処遇についてまとめてみる
第 15 回	内容	演習Ⅻ　児童の権利擁護　被措置児童虐待 援助者としての倫理と責務について	予習	施設内虐待について調べる
			復習	援助者としての倫理と責務についてまとめる

予習に要する学習時間：概ね１５分を目安とする。　復習に要する学習時間：概ね３０分を目安とする。

課題へのフィードバック	原則、事例ごとに全員課題についての意見など記載してレポートとして提出。簡単ですがコメントと評価をつけてできるだけ返却していくつもりでいます。事例Ｘはグループごとに評価しコメントします。
成績評価	試験期間における定期試験：実施（　）する／（〇）しない 成績評価の方法：　筆記試験（　　%）、レポート・課題（５０%）、作品・発表（２０%）、実技（　　%）、授業態度（３０%）
教科書	『書名』（著者名、出版社名）　なし
参考文献	『書名』（著者名、出版社名）　「社会的養護内容」　吉田眞理　編著　　萌文書林、その他必要に応じて紹介します。
注意事項	基本事例も含めプリント資料配布で授業を進めます。この授業は考える課程に授業の目的がありますので、授業マナーを守り意見発表や質問など積極的な参加を評価します。回答の正誤について問いません。

科　目　名	施設実習	単 位 数	2	実務経験	担当教員	あきやま　ひろこ 秋 山　展子
ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞｺｰﾄﾞ	SWS2224	授業形態	実習	有		

授　業　の 内　　容	施設実習は、保育所以外の児童福祉施設と知的障がい者施設で行われる実習である。本学の主な実習施設として、乳児院、児童養護施設、母子生活支援施設、知的障がい者支援施設などがある。原則として、１１日間施設に宿泊又は通勤し、利用者と生活をともにしながら実習を行う。
到 達 目 標	１．事前準備をしっかりと行い、実習施設について理解している。 ２．利用者一人一人への適切な支援のあり方を習得している。 ３．施設の機能を理解している。
学位授与方針	幼児教育学科（　　）地域保育学科（　5　）文化表現学科（　　）
授 業 計 画	・実習施設の一日の生活の流れを知る。 ・保育者の一日の職務を知る。 ・利用者の一日の過ごし方や活動内容を学ぶ。 ・自由時間の過ごし方やレクレーションについて学ぶ。 ・衣食住に関する支援の実際や配慮事項について学ぶ。 ・日中活動における支援のあり方について学ぶ。 ・福祉施設における保育者の役割について学ぶ。 ・福祉施設内のチームワークのあり方について学ぶ。 ・施設の機能について多様な視点から学ぶ。 ・福祉事務所、児童相談所など他機関との連携について学ぶ。 ・利用者や施設について総合的に学び、実習を振り返る。 以上１１日間の学外実習をする。
成績評価	試験期間における定期試験：実施（　）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法：　実習園評価（50%）、実習記録（30%）、実習課題（20%）
教科書	なし
参考文献	なし
注意事項	**※実習を授業の中心に位置づけている実践的教育から構成される授業科目である。**

科目名	保育所実習Ⅱ	単位数	2	実務経験	担当教員	つちや　ゆう 土屋　由
ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞｺｰﾄﾞ	CHS2223	授業形態	実習	有		

授業の内容	保育所実習Ⅱは、保育所実習Ⅰでの学びを踏まえ、保育者として必要な資質・能力・技術を習得すること、さらには子どもの保育及び保護者・家庭への支援について総合的に学ぶ。実習の段階としては「参加・責任実習」であり、子どもの生活や発達へのかかわりを更に深め、保育者として職務内容や職業倫理についても理解を深めることが必要である。
到達目標	1. 子どもの生活や発達、保育者の役割を理解している。 2. 子どもの生活や発達に即した指導計画の作成方法を身につけている。 3. 子どもの生活や発達に即し、指導計画に基づいて保育実践を行うことができる。 4. 実習の省察・評価から保育の過程を理解している。
学位授与方針	幼児教育学科（　　）地域保育学科（②③⑤　）文化表現学科（　　）
授業計画	後期保育所実習は、原則として第３学年の９月（２週間）に実施する。 参加・責任実習の主な内容 １．保育所の役割や機能の具体的展開 (1)　養護と教育が一体となって行われる保育 (2)　保育所の社会的役割と責任 ２．観察に基づく保育理解 (1)　子どもの心身の状態や活動の観察 (2)　保育者の動きや実践の観察 (3)　保育所の生活の流れや展開の把握 ３．子どもの保育及び保護者・家庭への支援と地域社会などとの連携 (1)　環境を通して行う保育、生活や遊びを通して総合的に行う保育の理解 (2)　入所している子どもの保護者支援と地域の子育て家庭への支援 (3)　地域社会との連携 ４．指導計画の作成、実践、観察、記録、評価 (1)　保育課程に基づく指導計画の作成・実践・省察・評価と保育の過程の理解 (2)　作成した指導計画に基づく保育実践と評価 ５．保育士の業務と職業倫理 (1)　多様な保育の展開と保育士の業務 (2)　多様な保育の展開と保育士の職業倫理 ６．自己の課題の明確化
成績評価	試験期間における定期試験：実施（　）する／（○）しない 成績評価の方法：　実習園による評価（50%）、実習日誌評価（30%）、課題（20%）
教科書	『実習の手引き』（実習委員会）、『子どもの育ちと安全を守る幼稚園・保育所・施設実習＜改訂版＞（仮題）』（茗井香保里、大学図書出版）
参考文献	『保育所保育指針』『保育実習（基本保育シリーズ）』（児童育成協会、中央法規出版）
注意事項	保育に関連する教科書・参考文献を読む、また遊びの具体例などについて情報を集めて習熟しておくなど、実習に向けて積極的に自己学習のプランを立て実行すること。 **※実習を授業の中心に位置づけている実践的教育から構成される授業科目である。**

科　目　名	施設実習研究	単 位 数	1	実務経験	担当教員	あきやま　ひろこ 秋 山　展子
ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞｺｰﾄﾞ	SWS2226	授業形態	演習			

授　業　の 内　　容	保育所を除く児童福祉施設を中心とした実習準備のための授業である。実習の目的や意義、実習内容等福祉 施設実習に必要な知識や技能を学ぶ。また、福祉施設利用者の権利擁護、施設職員としての倫理観、実習生と しての勤務のあり方についても学ぶ。実習に必要な書類の提出のほか実習施設から届けられる様々な情報も授業時に伝える。
到 達 目 標	1．施設の種別、それぞれの機能について理解している。 2．施設の種別ごとの利用者について理解している。 3．施設実習に必要な知識や技能を身につけている。
学位授与方針	幼児教育学科（　　）地域保育学科（　5　）文化表現学科（　　）

授 業 計 画

第1回	内容	施設実習の位置づけについて	予習	シラバスを読んでおく
			復習	この科目で習得すべき内容を理解する
第2回	内容	施設実習の意義について、実習申込書（誓約書）について	予習	実習のしおりを読み要件を理解しておく
			復習	実習の形態についてまとめる
第3回	内容	実習の要件、実習の形態について	予習	教科書「福祉施設」の章を読んでおく
			復習	プリントを中心に福祉施設の内容をまとめる
第4回	内容	実習中の注意点の確認、実習申込書の提出	予習	教科書「障害児・者施設」の章を読んでおく
			復習	プリントを中心に障害者施設の内容をまとめる
第5回	内容	福祉施設における実習	予習	福祉施設の特性を理解しておく
			復習	各福祉施設における実習内容をまとめる
第6回	内容	障がい系施設における実習内容	予習	教科書「障がい系施設」の章を読んでおく
			復習	プリントを中心に障がい系施設の内容をまとめる
第7回	内容	障がい児支援施設について	予習	教科書「障がい児施設」の章を読んでおく
			復習	プリントを中心に障がい児施設の内容をまとめる
第8回	内容	障がい者支援施設について	予習	教科書「障がい者施設」の章を読んでおく
			復習	プリントを中心に障がい者施設の内容をまとめる
第9回	内容	自閉症について	予習	教科書「自閉症」の章を読んでおく
			復習	プリントを中心に自閉症の内容をまとめる
第10回	内容	重度心身障害について	予習	教科書「重度心身障害」の章を読んでおく
			復習	プリントを中心に重度心身障害の内容をまとめる
第11回	内容	障がい児・者支援施設における職員の役割	予習	教科書で2施設の該当の章を読んでおく
			復習	プリントを中心に2施設の内容をまとめる
第12回	内容	養護系福祉施設における実習内容	予習	教科書「養護系施設」の章を読んでおく
			復習	プリントを中心に養護系施設の内容をまとめる
第13回	内容	児童養護施設について	予習	教科書「児童養護施設」の章を読んでおく
			復習	プリントを中心に児童養護施設の内容をまとめる
第14回	内容	乳児院について	予習	教科書「乳児院」の章を読んでおく
			復習	プリントを中心に乳児院の内容をまとめる
第15回	内容	実習希望調査 配当資料の提出	予習	核施設の特性を整理してくる
			復習	実習で学びたいことを明確にする
第16回	内容	母子生活支援施設・一時保護所について	予習	教科書で2施設の該当の章を読んでおく
			復習	プリントを中心に2施設の内容をまとめる
第17回	内容	養護系施設における職員の役割	予習	教科書「職員の役割」の章を読んでおく
			復習	プリントを中心に職員の役割の内容をまとめる
第18回	内容	実習課題について	予習	教科書「実習課題」の章を読んでおく
			復習	プリントを中心に実習課題の内容をまとめる
第19回	内容	実習書類の記入と提出	予習	実習の抱負を考えてくる
			復習	書類の添削を受けて、訂正をしてくる
第20回	内容	実習施設におけるオリエンテーションについて	予習	教科書「オリエンテーション」の章を読む
			復習	プリントでオリエンテーションの内容をまとめる

	第 21 回	内容	実習施設に関する事前学習	予習	実習施設の種類について調べてくる
				復習	プリントを中心に施設の特性をまとめる
	第 22 回	内容	実習日誌の書き方	予習	教科書「実習日誌」の章を読んでおく
				復習	プリントを中心に実習日誌内容をまとめる
	第 23 回	内容	実習書類の確認 細菌検査、実習施設に提出するレポートや誓約書等確認	予習	提出書類の記入及び準備をする
				復習	書類の確認・実習課題の整理をする
	第 24 回	内容	実習直前指導、各種報告書の準備	予習	実習前の質問事項を確認してくる
				復習	実習前課題にとりくむ
	第 25 回	内容	個人の実習の振り返り	予習	実習の反省を整理してくる
				復習	振り返った内容をレポートにまとめる
	第 26 回	内容	グループで実習の振り返りを行う	予習	グループ内で報告する内容を整理してくる
				復習	メンバーの報告内容をレポートにまとめる
	第 27 回	内容	グループごとに実習内容の報告を全体に向けて行う	予習	グループの報告内容を準備してくる
				復習	全グループの報告内容をレポートにまとめる
	第 28 回	内容	実習評価、個別面談	予習	施設実習のまとめとして学んだことを整理する
				復習	実習評価・面談を受けて、学習成果を振り返る
	予習に要する学習時間：概ね 15 分を目安とする。　復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。				
課題へのフィードバック	提出物等の評価を実習後の面談により伝える。				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（　）する／（　○　）しない 成績評価の方法：レポート（５０％）、課題（２０％）、授業態度（２０％）、実習書類提出（１０％）				
教科書	『保育士養成課程　五訂　福祉施設実習ハンドブック』（喜多一憲、児玉俊郎／監修　吉村美由紀、吉村譲　編 、株式会社みらい）				
参考文献	なし				
注意事項	なし				

科　目　名	保育所実習研究Ⅱ	単 位 数	1	実務経験	担当教員	つちや　ゆう 土屋　由
ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞｺｰﾄﾞ	CHS2225	授業形態	演習			

授業の内容	保育所実習研究Ⅱは、後期保育所実習（３年次９月）の事前事後指導である。事前指導では、後期保育所実習の目的や内容を理解すること、実習課題を明確にすること、指導計画の作成や実習に必要な実技を確認することを行っていく。事後指導では、実習の総括と自己評価を求め、実習報告会などの振り返りの場を通して、保育についての課題を明確にしていく。
到達目標	1. 実習に関する必要な知識と心構えを身につけ、心身ともに実習に向けての準備を行うことができる。 2. 子どもの生活や遊びに即した指導案を立案することができる。 3. 実習記録を通じて、省察や評価をすることができる。 4. 実習を通じて、自己課題を明確にすることができる。
学位授与方針	幼児教育学科（　　）地域保育学科（②③④⑤　）文化表現学科（　　）

授業計画

第１回	内容	後期実習の目的・内容の理解	予習	実習の手引きを読む
			復習	目的・内容をノートに整理する
第２回	内容	実習に必要な書類の作成①	予習	実習への心構えを考える
			復習	添削された書類を修正する
第３回	内容	実習に必要な書類の作成②	予習	実習の目的を考える
			復習	添削された書類を修正する
第４回	内容	実習課題を明らかにする	予習	実習課題を考える
			復習	実習課題を修正する
第５回	内容	指導案作成上の基本の確認	予習	指導案作成のプリントを読む
			復習	学んだことをノートに整理する
第６回	内容	指導案の立案①幼児クラス主活動	予習	主活動の内容・教材を考える
			復習	３・４・５歳の指導案を作成する（遊び）
第７回	内容	指導案の立案②幼児クラス生活場面	予習	生活場面の配慮を考える
			復習	３・４・５歳の指導案を作成する（生活）
第８回	内容	指導案の立案③未満児クラス主活動	予習	主活動の内容・教材を考える
			復習	未満児の指導案を作成する（遊び）
第９回	内容	指導案の立案④未満児クラス生活場面	予習	生活場面の配慮を考える
			復習	未満児の指導案を作成する（生活）
第10回	内容	実習に必要な実技の確認	予習	手遊びや紙芝居などの実技を考える
			復習	実技の練習をする
第11回	内容	実習記録の実際と方法	予習	実習記録の書き方のプリントを読む
			復習	実習記録を書く練習をする
第12回	内容	実習内容の振り返りとまとめ	予習	実習の内容を振り返る
			復習	他の人の意見を聞き、気づいたことをまとめる
第13回	内容	実習報告会の準備	予習	報告する内容を整理する
			復習	発表原稿やパワーポイントを作成する
第14回	内容	実習報告会	予習	発表の準備をする
			復習	他の人の発表を聞き、気づいたことをまとめる
第15回	内容	実習の総括	予習	実習の総括を考える
			復習	他の人の意見を聞き、気づいたことをまとめる

予習に要する学習時間：概ね 25 分を目安とする。　復習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。

課題へのフィードバック	評価票にもとづき、面談を行う。
成績評価	試験期間における定期試験：実施（　）する／（〇）しない 成績評価の方法：　レポート・課題（60%）、授業態度（30%）、手続き（10%）
教科書	『実習の手引き』（実習委員会）、『子どもの育ちと安全を守る幼稚園・保育所・施設実習＜改訂版＞（仮題）』（茗井香保里、大学図書出版）
参考文献	『保育所保育指針』『保育実習（基本保育シリーズ）』（児童育成協会、中央法規出版）
注意事項	指導案の作成にあたり、様々な授業を通して学んできた遊びや造形表現のアイデアが必要になる。子どもとの活動に際して、役に立ちそうなものをノートにまとめておくなど、学びに対する主体的な態度をもつよう心掛けてほしい。実習について必要な準備を進めるため、原則として欠席はしないこと。

科目名	教育相談	単位数	2	実務経験	担当教員	かがや たかふみ 加賀谷 崇文
ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞｺｰﾄﾞ	EDU2225	授業形態	講義			

授業の内容	幼児教育において、幼稚園教諭が行う教育相談は子どもの健全な成長に欠かせないものである。一方で、子どもを正しく理解し、その保護者からの相談を的確に受けることは、幼稚園教諭にとってかなり高度な知識が必要となる。本授業では、特に保護者からの相談をどのように受けるのか、様々な観点から学んでいく。
到達目標	1.保護者からの相談を受けることができる。 2.相談の技法を習得している。 3.他職種との連携の必要性を理解している。 4.子どもの発達を理解している。
学位授与方針	幼児教育学科（　　）地域保育学科（　1,2,4,5　　）文化表現学科（　　）

授業計画

第1回	内容	教育相談とは	予習	シラバスを読んでおく。
			復習	授業内容を確認する。
第2回	内容	保育者と相談	予習	自分が相談を受ける場面を想定しておく。
			復習	自分自身の相談スキルを確認する。
第3回	内容	クライエント中心療法	予習	自分が悩んだときの状態を思い出してみる。
			復習	クライエント中心療法の理論と実践の確認。
第4回	内容	精神分析法	予習	幼少期の体験が心に与える影響を考えてみる。
			復習	精神分析理論と実践の確認。
第5回	内容	認知行動療法	予習	学習理論を復習しておく。
			復習	認知行動療法の理論と実践の確認。
第6回	内容	保育者としての相談：専門性を活かす	予習	保育者の専門性と何か考えておく。
			復習	実践できるようまとめる。
第7回	内容	保育者としての相談：他機関との連携	予習	地域の相談機関を調べておく。
			復習	実践できるようまとめる。
第8回	内容	保育者としての相談：寄り添う援助	予習	クライエント中心療法を復習しておく。
			復習	実践できるようまとめる。
第9回	内容	教育相談の枠組み	予習	幼稚園における相談環境を考える。
			復習	実習先を想定して相談業務をイメージする。
第10回	内容	子どもの心理的不適応に関する相談	予習	子どもの心理的不適応について調べておく。
			復習	心理的不適応に関する相談技法を確認する。
第11回	内容	子どもの発達に関する相談	予習	子どもの発達理論を確認しておく。
			復習	発達に関する相談技法を確認する。
第12回	内容	発達障害に関する相談①（知的障害、自閉症スペクトラム）	予習	知的障害、自閉症について確認しておく。
			復習	障害児や保護者へのアプローチを確認する。
第13回	内容	発達障害に関する相談②（ADHD、LD）	予習	ADHD、LDについて確認しておく。
			復習	子どもの受け止め方を確認する。
第14回	内容	保護者自身の相談	予習	保護者の悩みを考えてみる。
			復習	保護者の悩みの受けとめ方を確認する。
第15回	内容	現代の子育てと相談	予習	現代の子育てを考えてみる。
			復習	現代の保護者に対する相談を整理する。

予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。　復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。

課題へのフィードバック	筆記試験の結果から、理解の不十分な点を後日伝える。
成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する／（　）しない 成績評価の方法：　筆記試験（90%）、授業態度（　10%）
教科書	『事例で学ぶ保育のための相談援助・支援』（須永進、同文書院）
参考文献	
注意事項	私語は慎むこと。

科　目　名	幼児教育実習	単 位 数	4	実務経験	担当教員	とねがわ　あきひろ 利根川　彰 博
ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞｺｰﾄﾞ	EDU2226	授業形態	実習	有		

授　業　の 内　　容	授業を通して学んだ知識や技能が､幼児教育の場でいかに活かされ応用することができるかということを実 践を通して学ぶ。また、保育の様子を観察する、子どもの活動に参加する、 保育者の助手的立場をとるなどの経験を通し、保育者の職務理解に務める。前期実習を 2 年次 11 月に、後期実習を 3 年次 10 月に実施する。
到 達 目 標	1. 子どもの発達を体験的に学び、子どもの実態に合った保育の営みについて理解している。 2. 保育者の職務理解に努め、責任実習を通し指導方法、指導技術などを体得している。 3. 幼稚園の地域における役割や社会的な機能について理解している。
学位授与方針	幼児教育学科（　　）地域保育学科（1，2，4，5　）文化表現学科（　　）
授 業 計 画	前期実習（観察・参加実習） 実習園の概要を知る 実習園の日課を理解する 配属クラスの子どもの名前を覚える 子どもの遊びに参加する 保育の進め方を観察する 環境構成のあり方を学ぶ 絵本の読み聞かせ、紙芝居、手遊び等、保育の営みの一部分を担当する 子どもの興味・関心、思考傾向など子どもの実態を知る 保育者の職務について学ぶ 前期実習を振り返り自己評価をする 自己課題を明確にし、後期実習にむけた準備をする 後期実習（参加・責任実習） 幼稚園の特徴、機能や役割を学ぶ 配属クラスの特徴をつかみ子どもとかかわる 個々の子どもの特性を把握し、一人ひとりに合ったかかわりをする 保育者の保育の進め方や指導方法を学ぶ 保育の多様な活動の部分を担当する 教材研究をする 部分実習、責任実習などの指導案を作成し実践する 登園時、降園時の保育者と保護者のかかわり方を観察する 幼稚園と他機関との連携、子育て支援などについて学ぶ 実習全般の振り返りを行う 保育者としての自己課題を明確にする
成績評価	試験期間における定期試験：実施（　）する／（○ ）しない 成績評価の方法：　実習園の評価（５０%）、実習日誌評価（５０%）
教科書	『実習の手引き』（実習委員会）
参考文献	『幼稚園教育要領解説』（文部科学省、フレーベル館）
注意事項	実習日誌等、必要書類の提出期限は厳守すること **※実習を授業の中心に位置づけている実践的教育から構成される授業科目である。**

科　目　名	幼児教育実習研究	単 位 数	1	実務経験	担当教員	とねがわ　あきひろ　ながい 利根川　彰 博・永井　めぐみ
ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞｺｰﾄﾞ	EDU2227	授業形態	実習			

授　業　の 内　　容	この授業は、教育実習を効果的に進めることができるよう、実習に向けて事前に準備をするための教科である。 実習に必要な書類を整えることや社会人としてのマナーを身につけること、あるいは指導案の作成、自己課題の発見等学ぶ範囲も非常に広い。 幼稚園現場の具体的な画像や動画を使用したドキュメンテーションを使用し、幼稚園や保育者幼児の実態を具体的理解し、視点をもって実習に臨めるようにする。
到 達 目 標	1. 幼稚園の生活に関する基本的事項を理解している。 2.　幼児の発達の様子や遊びの実態を理解している。 3. 幼稚園における保育活動、保育内容を理解している。 4. 教材研究、指導案を作成することができる。
学位授与方針	幼児教育学科（　　）地域保育学科（1，2，4，5）文化表現学科（　　）

授 業 計 画					
	第１回	内容	教育実習の意義・目的	予習	シラバスを読んでおく
				復習	『実習の手引き』を読む。
	第２回	内容	教育実習のための手続き	予習	実習の計画を確認する。
				復習	提出書類を確認する。
	第３回	内容	幼稚園の一日の様子をドキュメンテーションから学ぶ	予習	幼稚園の一日の生活を調べる。
				復習	感想・気付きをまとめる。
	第４回	内容	提出書類の作成①―「学生調査書」下書き―	予習	事前に作成した下書きを用意する。
				復習	期日までに下書きを提出する
	第５回	内容	提出書類の作成②―「学生調査書」清書―	予習	下書きの修正内容を確認する
				復習	清書を作成し提出する。
	第６回	内容	実習時期の保育や子どもの様子を学ぶ	予習	季節の絵本や手遊びを調べる
				復習	調べた絵本や手遊びを実践する
	第７回	内容	自己紹介の方法と紹介グッズの作成	予習	自己紹介の方法とグッズを調べる
				復習	自己紹介グッズを使って練習する
	第８回	内容	実習課題の検討	予習	実習課題を考える
				復習	実習課題を整理する
	第９回	内容	実習課題の作成	予習	実習課題の下書きを作成する
				復習	実習課題の清書を作成する
	第10回	内容	オリエンテーションの受け方	予習	オリエンテーションの事前準備をする
				復習	オリエンテーション報告書を作成する
	第11回	内容	実習日誌の書き方①：実習園の概況・環境等	予習	実習日誌を確認する
				復習	実習園の概況・環境等の書き方を確認する。
	第12回	内容	実習日誌の書き方②：保育の記録	予習	実習日誌を書く意義について確認する
				復習	保育の記録の書き方を確認する
	第13回	内容	実習日誌の書き方③：１日の振り返りと自己評価	予習	実習日誌を書く目的について確認する
				復習	1 日の振り返りの書き方を確認する
	第14回	内容	実習中の諸注意	予習	『実習の手引き』を読む。
				復習	実習中の諸注意を整理する
	第15回	内容	オリエンテーション報告書の作成	予習	オリエンテーションの事前準備をする
				復習	オリエンテーション報告書を作成する
	第16回	内容	実習報告―グループ、全体―	予習	実習の振り返りをまとめておく
				復習	他園の様子と照らし合わせる
	第17回	内容	実習自己評価と自己課題	予習	実習を振り返っておく
				復習	自己評価表の作成
	第18回	内容	園評価と個別面談	予習	自己評価の点検
				復習	評価内容の整理と今後の課題の確認
	第19回	内容	後期実習の目的・心得	予習	『実習の手引き』を読む。
				復習	教科書の内容を整理する
	第20回	内容	後期実習手続きの書類の作成指導：調査書について	予習	下書きを作成する
				復習	清書を作成し提出する

	第 21 回	内容	実習時期と教材研究	予習	実習時期の保育の流れを確認する
				復習	教材を収集する
	第 22 回	内容	部分実習指導案の作成	予習	教材研究をしておく
				復習	指導案を作成する
	第 23 回	内容	主活動の指導案作成	予習	教材研究をしておく
				復習	指導案を作成する
	第 24 回	内容	一日保育実習指導案の作成	予習	1 日の保育の流れを調べる
				復習	指導案を作成する
	第 25 回	内容	オリエンテーション報告書の作成	予習	実習巡回教員への挨拶
				復習	オリエンテーション報告書を作成する
	第 26 回	内容	後期実習の心得	予習	『実習の手引き』を読む
				復習	実習中の諸注意を整理する
	第 27 回	内容	実習の振り返り：グループディスカッション	予習	後期実習の振り返りをする
				復習	後期実習での学びをまとめる
	第 28 回	内容	実習報告会準備：グループごとに進める	予習	実習全体を振り返り、まとめる
				復習	担当の報告内容を考える
	第 29 回	内容	実習報告会資料作成：グループごとに進める	予習	担当の報告内容を整理する
				復習	報告会の資料を作成する
	第 30 回	内容	実習報告会	予習	報告内容の原稿を作成する
				復習	報告会の感想をまとめる
	予習に要する学習時間：概ね　４５分を目安とする。　復習に要する学習時間：概ね４５分を目安とする。				
課題へのフィードバック	レポートや課題にはコメントを付けて返却する。				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（　）する／（〇）しない 成績評価の方法：　レポート・課題（６０％）、授業態度（４０％）				
教科書	『幼稚園教育実習』（浅見均・田中正浩、大学図書出版） 『実習の手引き』（実習委員会）				
参考文献	『幼稚園教育要領解説』（文部科学省）、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』（内閣府、文部科学省、厚生労働省）				
注意事項	・事前に十分な準備を行なうことは、子どもや実習園の状況に応じた柔軟な対応を可能にする。受講生には、授業時だけでなく、授業時間外にも書籍や保育雑誌に目を通し、実践方法を学ぶことが求められる。				

科　目　名	保育・教職実践演習（幼稚園）	単 位 数	2	実務経験	担当教員	つちや　いとう　とねがわ 土屋・伊藤・利根川
ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞｺｰﾄﾞ	EDU2228	授業形態	演習			

授　業　の 内　　容	将来の教員像を描けるように、教職の意義を実践的な演習体験を通して学び直し、自己の課題を自覚し、教職 生活が円滑にスタートできるようにする。主に①使命感や責任感、教育的愛情に関する事項、②社会性や対人関係 能力に関する事項、③幼児理解や学級経営に関する事項、④教科・保育内容に関する事項といった４つの具体的な テーマを中心に履修する。
到 達 目 標	１．演習体験を通して、教職生活についての具体的なイメージをもつことができる。 ２．他の学生とのディスカッションなどを通じて、視野を広げて子どもとのかかわりを捉えることができる。 ３．ポスター発表などを通じて、今日的課題を理解している。
学位授与方針	幼児教育学科（　　）地域保育学科（②④⑤　）文化表現学科（　　）

授 業 計 画					
	第１回	内容	オリエンテーション（履修カルテの記入）	予習	シラバスを読み、授業計画を把握する。
				復習	授業の評価方法や注意事項を確認する。
	第２回	内容	子どもの権利に関する条約①　「知る」・「読む」・「使いこなす」	予習	子どもの権利条約の経緯を調べる。
				復習	子どもの権利条約の条文に目を通す。
	第３回	内容	子どもの権利に関する条約②　子どもに伝わる俳句を作る【グループワーク、発表】	予習	注目したい子どもの権利条約を３つ挙げる。
				復習	他グループの発表を聞き、意見をまとめる。
	第４回	内容	子どもの権利に関する条約③　実習体験に基づき事例を作成する（ポスター）	予習	実習体験に基づき事例を考えてくる。
				復習	事例と子どもの権利条約とのつながりが説明できているかを見直す。
	第５回	内容	子どもの権利に関する条約④　【ポスター発表、前半】	予習	発表の練習をする
				復習	発表を聞き、意見をまとめる
	第６回	内容	子どもの権利に関する条約⑤　【ポスター発表、後半】	予習	発表の練習をする
				復習	発表を聞き、意見をまとめる
	第７回	内容	保育の質を考える①　保育事故、映像から学ぶ	予習	どのような保育事故があるのか調べる。
				復習	保育事故について意見をまとめる。
	第８回	内容	保育の質を考える②　子どものケガ・事故への対応と安全管理【グループワーク】	予習	子どものケガが起こる場面・場所を考える。
				復習	子どものケガが起こる場面・場所を整理する。
	第９回	内容	保育の質を考える③　子どものケガ・事故への対応と安全管理【発表】	予習	発表の準備をする。
				復習	発表を聞き、意見をまとめる。
	第 10 回	内容	現職の先生による講座	予習	講座内容について配布されたプリントを読む。
				復習	講座の内容をまとめる。
	第 11 回	内容	理想の園を考える①　コンセプトを考える	予習	理想の園について環境や内容を考える。
				復習	グループで話し合った内容を整理する。
	第 12 回	内容	理想の園を考える③　コンセプトに基づき文献や保育実践例を調べる	予習	コンセプトに基づき文献や保育実践例を探す。
				復習	調べた文献を読み、整理する。
	第 13 回	内容	理想の園を考える④　発表準備	予習	発表する内容を考える。
				復習	発表内容を振り返り、追加する内容を考える。
	第 14 回	内容	理想の園を考える⑤　【発表】	予習	発表の練習をする。
				復習	発表を聞き、意見をまとめる。
	第 15 回	内容	授業全体のまとめと振り返り	予習	職業生活のあり方について意見をまとめる。
				復習	授業で学んだことを整理する。
	予習に要する学習時間：概ね 25 分を目安とする。　復習に要する学習時間：概ね 20 を目安とする。				

課題へのフィードバック	・話し合いの内容および方向性について助言する。 ・発表の内容についてコメントする。
成績評価	試験期間における定期試験：実施（　）する／（○）しない 成績評価の方法：　**課題（６０%）、発表（３０%）、授業態度（１０%）**
教科書	なし
参考文献	**授業で紹介する。**
注意事項	**他の受講生の意見や考えを聞き、自分の考えと相対化することで、学びを深めてほしい。　（土屋 15・伊藤 15・利根川 15）**

科　目　名	保育相談支援	単 位 数	1	実務経験	担当教員	いとう　あきよし 伊藤　明 芳
ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞｺｰﾄﾞ	CHS2229	授業形態	演習			

授　業　の 内　　容	保育相談支援は、保育者が相談者（主に保護者）に対して、家庭や園における子どもの保育・教育上の問題について、その望ましい解決に向けて助言や援助指導をおこなう実践活動である。背景に発達や環境の要因があると推測される子どもの問題行動から保護者の養育不安まで、相談内容は多岐にわたる。これからの保育者には保護者の心へのサポートもより意識的に求められるようになる。本講義では、保育相談支援の基礎的知識の習得と現場で活きる保育相談支援の実践的能力の育成を図る。さらに、保育者自身の心の安定と成長にもアプローチしたいと考えている。
到 達 目 標	1. 保育者が保育相談支援を行なう意義を理解し説明できる。 2. 保育相談支援の具体的な方法を理解し実践できる。 3. 保育者として、相談者の心に寄り添う保育相談支援の実践をおこなう心を養っている。
学位授与方針	幼児教育学科（　　）地域保育学科（　1,4,5　　）文化表現学科（　　）

授 業 計 画				
第１回	内容	１．イントロダクション 保育相談支援とは何か	予習	シラバスを読み、授業計画を把握する。
			復習	授業内容と評価方法について理解する。
第２回	内容	２．体験から学ぶ相談に必要なこと ロールプレイ(1)［相談を受ける時の基本姿勢］	予習	本ロールプレイの意味と意義を調べる。
			復習	実習の感想をまとめる。
第３回	内容	ロールプレイ(2)［意思を通じあうこと］	予習	本ロールプレイの意味と意義を調べる。
			復習	実習の感想をまとめる。
第４回	内容	３．保育相談支援実践の基本と応用 相談の基礎(1)［概要］	予習	相談について調べる。
			復習	相談の概要について理解し整理する。
第５回	内容	相談の基礎(2)［実践へのヒント］	予習	相談実践について調べる。
			復習	相談の実践について理解し整理する。
第６回	内容	相談のための理論の活用	予習	相談理論について調べる。
			復習	相談の理論と活用について理解し整理する。
第７回	内容	相談のための心理アセスメント	予習	心理アセスメントについて調べる。
			復習	心理アセスメントについて理解し整理する。
第８回	内容	相談のプロセス	予習	相談のプロセスについて調べる。
			復習	相談プロセスについて理解し整理する。
第９回	内容	相談の技法	予習	相談の技法について調べる。
			復習	相談技法について理解し整理する。
第 10 回	内容	４．事例から学ぶ保育相談支援 ［登園渋り等】	予習	登園渋りについて調べる。
			復習	本事例からの学びを整理する。
第 11 回	内容	子どもの心の発達・心の問題(1) ［逸脱行動等］	予習	逸脱行動について調べる。
			復習	本事例からの学びを整理する。
第 12 回	内容	子どもの心の発達・心の問題(2) ［養育不安等］	予習	養育不安について調べる。
			復習	本事例からの学びを整理する。
第 13 回	内容	子どもの心の発達・心の問題(3) ［保護者の心］	予習	保護者の心について調べる。
			復習	本事例からの学びを整理する。
第 14 回	内容	５．保育者の心の健康を育む	予習	心の健康について調べる。
			復習	保育者の心の健康の育みについて理解し整理する。
第 15 回	内容	まとめと今後へのアドバイス	予習	本講義全体の学びと疑問点を整理する。
			復習	今後の実践活用について考察をする。

予習に要する学習時間：概ね 60 分を目安とする。　復習に要する学習時間：概ね 60 分を目安とする。

課題へのフィードバック	受講学生に対して、講義内容、試験のフィードバックをおこなう。
成績評価	試験期間における定期試験：実施（○ ）する／（　 ）しない 成績評価の方法：　筆記試験（60%）、授業態度（40%）
教科書	須永進(編)(2013)．事例で学ぶ保育のための相談援助・支援～その方法と実際　同文書院

参考文献	講義の際に随時紹介する。
注意事項	講義を中心におこなう。実際の事例などをあげ、受講生にわかりやすい内容を心がけたい。その他、ロールプレイ等も取り入れ、相談等の体験的な学習もおこないたい。相談を受けて人に関わるとき、保育者には人間的かつ専門的な総合力が必要になる。そこで、受講者には積極的に授業に参加し、自ら学び考える意欲を持つことが求められる。

科目名	地域子育て支援論	単位数	2	実務経験	担当教員	つちやゆう　とねがわあきひろ 土屋由・利根川彰博
ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞｺｰﾄﾞ	SWS2228	授業形態	講義			

授業の内容	現代社会において、子育て支援は重要な課題となっている。一方で、これらの取り組みが始まってからある程度の時間がたち、より地域に根差した新たな支援も考慮しなければならない。本講義では、学生が主体となって実際の支援活動を企画・運営することで「地域子育て支援」のあり方について学ぶ。
到達目標	1．子育て支援の具体的方法について理解している。 2．二歳・三歳児と保護者への関わり方を学ぶことができる。 3．子育て支援の効果を理解している。 4．本学の環境を踏まえた活動の立案を行い、受講生同士で協力し合いながら活動を運営することができる。
学位授与方針	幼児教育学科（　　）地域保育学科（　2，3，4，5　）文化表現学科（　　）

授業計画

第1回	内容	オリエンテーション	予習	シラバスを読み、授業計画を把握する。
			復習	授業の評価方法や注意事項を確認する。
第2回	内容	支援活動内容についての説明	予習	要領・指針の子育て支援を確認する。
			復習	子育て支援の考え方について整理する。
第3回	内容	親子活動内容についての検討①：過去の活動内容	予習	大学の HP から過去の活動を確認する。
			復習	活動内容のイメージをまとめる。
第4回	内容	親子活動内容についての検討②：活動のねらい	予習	活動のねらいを考え、意見をまとめる。
			復習	ねらいに沿った活動案を考える。
第5回	内容	親子活動内容についての検討③：活動期間の検討	予習	活動期間・回数・時期について意見をまとめる。
			復習	活動の時期に沿った活動案を考える。
第6回	内容	親子活動内容についての検討④：主活動案の検討	予習	取り組みたい主活動をまとめる。
			復習	検討内容を踏まえ主活動案を考える。
第7回	内容	親子活動内容についての検討⑤：主活動案の決定	予習	主活動の具体的な計画を立てる。
			復習	決定した主活動に関する資料を収集する。
第8回	内容	親子活動内容についての検討⑥：活動担当決め	予習	担当したい活動について意見をまとめる。
			復習	担当する活動の計画を立案する。
第9回	内容	親子活動内容についての検討⑦：各回の検討	予習	各回の活動の詳細を考える。
			復習	各回の活動内容を検討する。
第10回	内容	親子活動内容についての検討⑧：各回の決定	予習	各回の活動内容の実施時期を考える。
			復習	実施時期を踏まえた活動内容を検討する。
第11回	内容	親子活動の広報に関する検討	予習	過去の広報活動を確認する。
			復習	広報活動の方法を確認する。
第12回	内容	ポスター、チラシの製作	予習	過去のポスター・チラシを確認する。
			復習	ポスター・チラシを作成する。
第13回	内容	ポスターの掲示、チラシの配布	予習	過去の配布先・配布方法を確認する。
			復習	配布先と調整を行う。
第14回	内容	親子活動準備①：教材研究（絵の具遊び）	予習	絵の具遊びに必要な素材を確認する。
			復習	模擬制作を振り返り、素材や手順を検討する。
第15回	内容	親子活動準備②：教材研究（製作活動）	予習	製作活動に必要な環境を確認する。
			復習	模擬活動を振り返り、環境や手順を検討する。
第16回	内容	親子活動準備③：指導案の作成	予習	指導案の作成方法を確認する。
			復習	担当する活動の指導案を作成する。
第17回	内容	親子活動準備④：教材準備	予習	全活動に必要な教材を確認する。
			復習	全活動に必要な教材を収集する。
第18回	内容	直前準備	予習	初回の活動に必要な素材や環境を確認する。
			復習	活動当日の担当と役割を確認する。
第19回	内容	親子活動①：自己紹介、室内遊び	予習	活動に必要な素材や環境を確認する。
			復習	活動の流れや注意事項を振り返り、共有する。
第20回	内容	前回の活動振り返りと次回の活動計画の確認①	予習	参加者の様子を振り返り、意見をまとめる。
			復習	次回の活動の役割と流れを確認する。

	第 21 回	内容	親子活動②：製作活動	予習	活動に必要な素材や環境を確認する。
				復習	活動の流れや注意事項を振り返り、共有する。
	第 22 回	内容	前回の活動振り返りと次回の活動計画の確認②	予習	参加者の様子を振り返り、意見をまとめる。
				復習	次回の活動の役割と流れを確認する。
	第 23 回	内容	親子活動③：運動遊び	予習	活動に必要な素材や環境を確認する。
				復習	活動の流れや注意事項を振り返り、共有する。
	第 24 回	内容	前回の活動振り返りと次回の活動計画の確認③	予習	参加者の様子を振り返り、意見をまとめる。
				復習	次回の活動の役割と流れを確認する。
	第 25 回	内容	親子活動④：絵の具遊び	予習	活動に必要な素材や環境を確認する。
				復習	活動の流れや注意事項を振り返り、共有する。
	第 26 回	内容	前回の活動振り返りと次回の活動計画の確認④	予習	参加者の様子を振り返り、意見をまとめる。
				復習	次回の活動の役割と流れを確認する。
	第 27 回	内容	親子活動⑤：製作活動	予習	活動に必要な素材や環境を確認する。
				復習	活動の流れや注意事項を振り返り、共有する。
	第 28 回	内容	前回の活動と全体計画の振り返り	予習	参加者の様子を振り返り、意見をまとめる。
				復習	活動の全体を振り返り、意見をまとめる。
	第 29 回	内容	次年度に向けた意見交換	予習	次年度への引き継ぎ事項や意見をまとめる。
				復習	次年度に向けて資料を作成する。
	第 30 回	内容	まとめ	予習	子育て支援のあり方について意見をまとめる。
				復習	活動で学んだことを整理する。
	予習に要する学習時間：概ね 60 分を目安とする。　復習に要する学習時間：概ね 120 分を目安とする。				
課題へのフィードバック	・話し合いの内容および方向性について助言する。 ・活動の振り返りにおいて、活動内容および参加態度についてコメントする。				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（　）する／（〇）しない 成績評価の方法：授業態度（100%）				
教科書	なし				
参考文献	なし				
注意事項	・２０名までの受講とする。 ・活動の実施時期・方法については、前年度までの取り組みを踏まえて授業時に検討する。　（土屋 30・利根川 30）				

科目名	カウンセリング論	単位数	2	実務経験	担当教員	かがや　たかふみ 加賀谷　崇文
ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞｺｰﾄﾞ	CLP2221	授業形態	講義			

授業の内容	心の悩みを解決する方法の一つとしてカウンセリングが挙げられる。カウンセリングの場面で重要なことは、悩んでいるクライエントの話しを如何に聴き、如何に理解するかである。そこで本授業では、精神分析やロジャーズなどのカウンセリング理論を取りあげ、実習を交えながら、クライエントの悩みの聞き方を考えていく。　この授業でピアヘルパーの資格受験対策も行う。
到達目標	1. カウンセリングの技法を習得している。 2. 実際に悩んでいる人の相談相手になることができる 3. ピアヘルピングの理論を理解している。 4. ピアヘルピングを行うことができる
学位授与方針	幼児教育学科（　　）地域保育学科（　2,3,5）文化表現学科（　　）

授業計画

第1回	内容	カウンセリングの定義	予習	教科書 p.16-21 を読んでおく。
			復習	授業で扱った内容を覚える。
第2回	内容	構成的グループエンカウンター	予習	教科書 p.10-15 を読んでおく。
			復習	授業で扱った内容を覚える。
第3回	内容	現代社会とカウンセリング	予習	教科書 p.16-21 を読んでおく。
			復習	授業で扱った内容を覚える。
第4回	内容	カウンセリングと近接領域	予習	教科書 p.22-32 を読んでおく。
			復習	授業で扱った内容を覚える。
第5回	内容	ピアヘルピングの基本	予習	教科書 p33-39,46-51 を読んでおく。
			復習	授業で扱った内容を覚える。
第6回	内容	リレーションのつくり方	予習	教科書 p.33-45 を読んでおく。
			復習	授業で扱った内容を覚える。
第7回	内容	問題の把握	予習	教科書 p.33-45 を読んでおく。
			復習	授業で扱った内容を覚える。
第8回	内容	援助法について	予習	教科書 p.52-64 を読んでおく。
			復習	授業で扱った内容を覚える。
第9回	内容	問題の解決法	予習	教科書 p.65-97 を読んでおく。
			復習	授業で扱った内容を覚える。
第10回	内容	青年期の諸問題	予習	教科書 p.98-121 を読んでおく。
			復習	授業で扱った内容を覚える。
第11回	内容	グループの動かし方	予習	教科書 p.122-142 を読んでおく。
			復習	授業で扱った内容を覚える。
第12回	内容	ゲシュタルトセラピー	予習	ゲシュタルトセラピーとは何か調べておく。
			復習	ゲシュタルトセ理論を再確認する。
第13回	内容	論理療法	予習	論理療法とは何か調べておく。
			復習	論理療法理論を再確認する。
第14回	内容	ロールプレイ	予習	ロールプレイの設定を考えておく。
			復習	相談実践場面を考える。
第15回	内容	保育者とカウンセリング	予習	ここまでの授業内容を振り返っておく。
			復習	保育現場での相談全般を考える。

予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。　復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。

課題へのフィードバック	授業を理解しているか、常に質問を行っていく。
成績評価	試験期間における定期試験：実施（　）する／（○）しない 成績評価の方法：　レポート・課題（　90%）、授業態度（　10%）
教科書	『ピアヘルパーハンドブック』（日本教育カウンセラー協会、図書文化社） 『ピアヘルパーワークブック』（日本教育カウンセラー協会、図書文化社）
参考文献	なし
注意事項	ピアヘルパー資格受験希望者は必ず受講すること。

科目名	親子関係論	単位数	2	実務経験	担当教員	かみしま ひろこ 上島 浩子
ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞｺｰﾄﾞ	CHS22210	授業形態	講義			

授業の内容	地域で「親子のふれあい」を伝えることが必要な社会的背景や産後の母親や家族の支援の重要性について理解する。ベビーマッサージ指導を通して親子の絆を深める援助ができる事を目的とする。
到達目標	1．地域における親子関係の支援の必要性と方法について理解している 2．ベビーマッサージの利点や効果について説明できる 3．ベビーマッサージの手技の指導を行う力を身につけている
学位授与方針	幼児教育学科（　　）地域保育学科（　3,4　）文化表現学科（　　）

授業計画

第1回	内容	オリエンテーション、ベビーマッサージとは、お人形の扱い方	予習	シラバスを読んでおく
			復習	この科目で習得すべき内容を理解する
第2回	内容	産後の母親の身体的・心理的・社会的変化、ベビーマッサージの準備	予習	動画を見てベビーマッサージのイメージをつかむ
			復習	産後の母親の変化についてレポートにまとめる
第3回	内容	ベビーマッサージの歴史、脚のマッサージ	予習	動画「脚のマッサージ」を見て練習
			復習	脚のマッサージの指導ができるよう練習
第4回	内容	ベビーマッサージを始める時期、お腹のマッサージ	予習	動画「お腹のマッサージ」を見て練習
			復習	お腹のマッサージの指導ができるよう練習
第5回	内容	植物オイルについて、タッチの違いを感じるペアワーク	予習	植物オイルの種類について調べる
			復習	ペアワークの感想をレポートにまとめる
第6回	内容	赤ちゃんの皮膚の特徴、腕のマッサージ	予習	動画「腕のマッサージ」を見て練習
			復習	オイルパッチテストの台本を作成
第7回	内容	自律神経とホルモン、「親子の絆」について	予習	「親子の絆」とはどのようなものか考える
			復習	「親子の絆」について考えをレポートにまとめる
第8回	内容	「身体の声を聴く」こと（ペアワーク）、胸のマッサージ	予習	動画「胸のマッサージ」を見て練習
			復習	身近な対象の「身体の声を聴く」課題レポート
第9回	内容	赤ちゃんの発育・発達とベビーマッサージ、背中のマッサージ	予習	動画「背中のマッサージ」を見て練習
			復習	腕、胸、背中のマッサージの指導の練習
第10回	内容	地域支援におけるベビーマッサージの社会的効果（グループワーク）、顔のマッサージ	予習	動画「顔のマッサージ」を見て練習
			復習	全身のマッサージ指導ができるよう練習
第11回	内容	地域支援におけるベビーマッサージ講座内容の組み立て方	予習	居住地域等の地域支援プログラムを調べる
			復習	プログラムを考えてレポートにまとめる
第12回	内容	デモクラス発表「ベビーマッサージの利点・効果」①	予習	発表準備
			復習	発表の感想をレポートにまとめる
第13回	内容	デモクラス発表「ベビーマッサージの利点・効果」②	予習	発表準備
			復習	発表の感想をレポートにまとめる
第14回	内容	集団・幼児期における「触れること」について	予習	保育者として子どもに触れる場面を考える
			復習	保育者として子どもに触れる際の配慮をまとめる
第15回	内容	参観日等への応用、「絵本タッチ」（発表）	予習	使用する絵本を選ぶ
			復習	仕事等にどのように活かしていくかまとめる

予習に要する学習時間：概ね９０分を目安とする。　復習に要する学習時間：概ね９０分を目安とする。

課題へのフィードバック	作成したレポートにコメントを行う。実技部分は次回にグループで実技チェックを行う。
成績評価	試験期間における定期試験：実施（　）する／（〇）しない 成績評価の方法：　レポート・課題（３０％）、作品・発表（２０％）、実技（２０％）、授業態度（３０％）
教科書	『ベビーマッサージテキスト講義編』『ベビーマッサージテキスト実技編』（ＪＡＢＣ日本ベビー＆チャイルドケア協会）
参考文献	『子供の「脳」は肌にある』（山口創、光文社新書）
注意事項	グループワークや意見の発表など積極的な態度での受講を望みます。

科　目　名	福祉施設の現状	単 位 数	2	実務経験	担当教員	かたがい　はるお 片 貝　晴夫
ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞｺｰﾄﾞ	SWS22211	授業形態	講義			

授　業　の 内　　容	福祉施設の利用者は、社会的養護を必要としている子どもたちや障害を持った子どもたち（成人施設を含む）である。その利用者は施設でどのような生活をし、将来自立して生活を行うために保育士や職員はどのような支援を行っているのか、保育士の役割など事例を通して自立支援のあり方を理解し、課題を整理しながら実践の場で活用できるようにする。
到 達 目 標	１．福祉施設の入退所に関わる児童相談所や福祉事務所などが行う措置、支援について説明することができる。 ２．各福祉施設の支援内容について説明することができる。 ３．福祉施設の職員として支援のあり方について説明することができる。
学位授与方針	地域保育学科（１・４・５）

授 業 計 画					
	第１回	内容	社会的養護が必要な子どもの現状及び福祉施設はどのような役割を担っているか	予習	シラバスを読んでおく
				復習	この科目で修得すべき内容を理解する
	第２回	内容	福祉施設の入所から退所までの手続きおよび措置機関である児童相談所等の役割	予習	措置について調べる
				復習	子どもの人権についてまとめる
	第３回	内容	乳児院の現状と課題及び子どもたちの生活と保育士の役割・具体的な愛着関係の形成方法	予習	乳児院について調べる
				復習	愛着関係についてまとめる
	第４回	内容	児童養護施設の現状と課題及び保育士の役割や被虐待児への支援・自立に向けた支援のあり方	予習	保育士の役割について調べる
				復習	自立に向けた支援のあり方についてまとめる
	第５回	内容	情緒障害児施設の現状と課題及び保育士の役割と家族支援のあり方	予習	情緒障害児施設についで調べておく
				復習	保育士の役割をまとめる
	第６回	内容	児童自立支援施設の現状と課題及び入所児童の事例から非行と虐待の関係について検証する	予習	少年少女の非行ついて調べる
				復習	非行と虐待の関係についてまとめる
	第７回	内容	母子生活支援施設の現状と課題及び事例を通して保育士の役割と支援のあり方を考える	予習	母子生活支援施設について調べる
				復習	保育士の役割をまとめる
	第８回	内容	障害児（者）施設の現状と課題及び障害児（者）の自立と社会参加について事例を通して考える	予習	障害児（者）施設について調べる
				演習	障害児（者）の支援のあり方をまとめる
	第９回	内容	児童発達支援施設の現状と課題及び施設内での訓練や保育士の役割を理解する	予習	児童発達支援センターについて調べる
				復習	保育士の役割ついてまとめる
	第10回	内容	里親制度の現状と課題及び被虐待児の増加と里親制度の意義ついて事例を通して考える	予習	里親制度について調べる
				復習	里親の抱える課題についてまとめる
	第11回	内容	企業主導型保育園の現状と課題及び保育環境と保育者の期待や不安	予習	企業主導型保育園について調べる
				復習	望ましい保育環境についてまとめる
	第12回	内容	小規模保育園や夜間保育園の現状と課題及び子どもの発達と保育環境について考える	予習	小規模保育園・夜間保育園について調べる
				復習	保育士が抱える課題についてまとめる
	第13回	内容	福祉施設の倫理及び児童養護施設での体罰事例を通して子どもの人権や権利擁護を考える	予習	子どもの権利ノートについて調べる
				復習	体罰の防止策をまとめる
	第14回	内容	認可外保育施設の現状と課題及び民間事業者参入に伴う認可外保育施設の増加について考える	予習	認可外保育施設について調べる
				復習	事故防止についてまとめる
	第15回	内容	社会福祉法人の意義及び公共性重視型と市場原理重視型の違い	予習	社会福祉法人について調べる
				復習	社会福祉法人の公共性についてまとめる
	予習に要する学習時間：概ね９０分を目安とする。　復習に要する学習時間：概ね９０分を目安とする。				

課題へのフィードバック	作成したレポートの解説説明を行う
成績評価	試験期間における定期試験：実施（　）する／（〇）しない 成績評価の方法：　レポート・課題（６０％）、授業態度（４０％）
教科書	なし
参考文献	その都度提示する
注意事項	授業中、スマホはバッグ等に保管する

科　目　名	地　域　福　祉	単 位 数	2	実務経験	担当教員	あきやま　ひろこ 秋 山　展子
ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞｺｰﾄﾞ	SWS22212	授業形態	講義			

授　業　の 内　　容	本講義では地域福祉の発展過程を踏まえながら、将来の展望を示し、社会福祉に必要な知識を学ぶことを目的としている。
到 達 目 標	1．1 地域福祉の基本的な考え方とシステムを理解している。 2．行政組織と民間組織の役割を理解している。 3．現代における地域福祉の課題を理解している。
学位授与方針	幼児教育学科（　　）地域保育学科（　1，5　）文化表現学科（　　）

授 業 計 画					
	第１回	内容	新しい社会福祉システム	予習	シラバスを読んでおく
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する
	第２回	内容	地域福祉の基本的な考え方	予習	教科書「子ども支援」の章を読んでおく
				復習	プリントを中心に子ども支援についてまとめる
	第３回	内容	地域福祉の主体と福祉教育	予習	教科書「教育と福祉制度」の章を読んでおく
				復習	プリントを中心に福祉制度についてまとめる
	第４回	内容	行政組織と民間組織の役割と実際	予習	教科書「児童・地域福祉」の章を読んでおく
				復習	プリントを中心に地域組織についてまとめる
	第５回	内容	コミュニティソーシャルワークと専門職の役割	予習	教科書「相談援助」の章を読んでおく
				復習	プリントを中心に相談援助についてまとめる
	第６回	内容	住民の参加と方法	予習	教科書「地域福祉理解」の章を読んでおく
				復習	プリントを中心に地域福祉理解の内容をまとめる
	第７回	内容	地域子育て支援の施設を見学	予習	子育て支援施設について理解を深める
				復習	見学から学んだことを整理する
	第８回	内容	地域子育て支援の課題	予習	理解したことをレポートにして提出
				復習	支援課題を整理する
	第９回	内容	地域における社会資源	予習	教科書「地域福祉関連機関」の章を読んでおく
				復習	プリントを中心に関連機関についてまとめる
	第 10 回	内容	社会資源の活用・調整	予習	教科書「ボランティア」の章を読んでおく
				復習	プリントを中心にボランティアについてまとめる
	第 11 回	内容	民生委員とは	予習	教科書「民生委員」の章を読んでおく
				復習	プリントを中心に民生委員についてまとめる
	第 12 回	内容	地域における福祉サービスの実際	予習	居住地域の福祉サービスを調べる
				復習	調べた内容をレポートにまとめる
	第 13 回	内容	日本の地域福祉に影響を与えた海外の考え方	予習	日本の福祉サービスの章を読んでおく
				復習	プリントを中心に福祉サービスの内容をまとめる
	第 14 回	内容	福祉によるまちづくりとソーシャルアクション	予習	教科書「地域ケア」の章を読んでおく
				復習	プリントを中心に地域ケアの内容をまとめる
	第 15 回	内容	これまでのまとめ	予習	教科書・プリントの内容を整理する
				復習	学習内容をまとめて、学習成果を振り返る
	予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。　復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。				

課題へのフィードバック	・小テストを行い、試験後に解答を示し、解説をおこなう。 ・提出物等について確認を行う。
成績評価	試験期間における定期試験：　実施（　）する／（○）しない 成績評価の方法：　筆記試験（５０％）、課題（２０％）、授業態度（３０％）※講義の中で必要に応じて小テストをおこなう。
教科書	『子育てとケアの原理』（髙橋貴志監修、望月雅和編著、北樹出版）
参考文献	なし
注意事項	なし

科　目　名	保育施設経営論	単 位 数	2	実務経験	担当教員	伊能（いのう）　恵子（けいこ）
ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞｺｰﾄﾞ	SWS22213	授業形態	講義			

授　業　の　内　容	保育所を経営するということは、保育実践の“価値”を生み出し続けることであるという真理を理解する。そのために、経営の条件、経営者の条件を学び「経営品質」の考え方を獲得し、身につけることを目的とする。
到 達 目 標	1. 学生１人１人が経営者としてばかりではなく保育実践者としての倫理観を習得できる 2. 保育施設を経営する観点から、保育実践をみがいていくフレームワークを習得できる 3. 自分の良さを発見し、職場で輝く働き方を習得できる 4. 組織人としての心構えを習得できる
学位授与方針	幼児教育学科（１・２・３・４・５・６・７）地域保育学科（１・２・３・５）文化表現学科（１・２・３・４）

授業計画				
第１回	内容	保育所経営の条件	予習	シラバスを読んでくる
			復習	人生の第一歩シートをまとめる
第２回	内容	価値を生み出す保育所経営活動	予習	経営者の条件を考える
			復習	経営理念と方針を考える
第３回	内容	保育所におけるリーダーシップ	予習	リーダーシップとは何かを考える
			復習	経営の本質と認識をまとめる
第４回	内容	保育所における社会的責任	予習	社会的責任とは何かを考える
			復習	保育士に守らせたい倫理観をまとめる
第５回	内容	保育業界市場の理解と対応	予習	保育業界とはどんなものかを考える
			復習	保育の対象とその理由をまとめる
第６回	内容	保育所戦略の策定と展開	予習	保育所とはどんな所かを考える
			復習	保育所の役割とあるべき姿をまとめる
第７回	内容	保育士の能力向上	予習	保育士に必要な能力を考える
			復習	理想とする職場環境をまとめる
第８回	内容	保育所の能力向上	予習	人材育成とは何かを考える
			復習	保育士資質向上の必然性をまとめる
第９回	内容	保育現場という職場環境	予習	職場とは何かを考える
			復習	職場内コミュニケーションをまとめる
第 10 回	内容	保育価値創造のプロセス	予習	子ども、保護者、保育士の関係性を考える
			復習	顧客価値とは何かをまとめる
第 11 回	内容	情報マネジメント	予習	保育に必要な情報とは何かを考える
			復習	情報コントロールの必然性をまとめる
第 12 回	内容	保育所経営活動結果分析	予習	顧客とは何かを考える
			復習	顧客満足の視点をまとめる
第 13 回	内容	人事・労務管理①：自己啓発	予習	労務管理とは何かを考える
			復習	自己分析を行いまとめる
第 14 回	内容	人事・労務管理②：自己育成	予習	人事管理とは何かを考える
			復習	他己分析を行いまとめる
第 15 回	内容	経営するということ	予習	経営者とはどうあるべきか考える
			復習	経営することをまとめる

予習に要する学習時間：概ね９０分を目安とする。　復習に要する学習時間：概ね９０分を目安とする。

課題へのフィードバック	毎授業ごとの課題、レポートにコメントし返却する
成績評価	試験期間における定期試験：実施（　）する／（○）しない 成績評価の方法：　筆記試験（　　%）、レポート・課題（１００%）、作品・発表（　　%）、実技（　　%）、授業態度（　　%）
教科書	なし
参考文献	『日本経営品質賞アセスメント基準書』（日本経営品質委員会）日本経営品質学会機関紙 『社会福祉施設・事業者の為の経営ハンドブック』（東京都社会福祉協議会）
注意事項	毎授業に課題提出を求める為、出席は必須である。

【地域保育学科】

「実務経験のある教員等による授業科目」一覧

（シラバスリンク：新カリキュラム）
https://www.akikusa.ac.jp/akitan/wordpress/wp-content/themes/akikusaTheme/assets/pdf/ch_syllabus_2020.pdf#pagemode=bookmarks

	科目名	単位数	授業形態	担当教員	シラバスページ
1	保育所実習Ⅰ	2	実習	土屋由	70
2	施設実習	2	実習	秋山展子	本年度配当無し
3	保育所実習Ⅱ	2	実習	土屋由	本年度配当無し
4	児童館実習	2	実習	秋山展子	71
5	教育実習Ⅰ	2	実習	利根川彰博	76
6	教育実習Ⅱ	2	実習	利根川彰博	本年度配当無し
	計	12			

（シラバスリンク：旧カリキュラム）
https://www.akikusa.ac.jp/akitan/wordpress/wp-content/themes/akikusaTheme/assets/pdf/ch_syllabus_2020_old.pdf#pagemode=bookmarks

	科目名	単位数	授業形態	担当教員	シラバスページ
1	保育所実習Ⅰ	2	実習	土屋由	本年度配当無し
2	施設実習	2	実習	秋山展子	31
3	保育所実習Ⅱ	2	実習	土屋由	32
4	児童館実習	2	実習	秋山展子	本年度配当無し
5	幼児教育実習	4	実習	利根川彰博	37
	計	12			

注）「実務経験のある教員等による授業科目」とは、担当する授業科目に関連した実務経験を有している者が、その実務経験を十分に授業に活かしつつ、実践的教育を行っている授業科目を指す。実務経験があっても、担当する授業科目の教育内容と関わりがなく、授業に実務経験を活かしているとは言えない場合は対象とはならないことに注意すること。また、必ずしも実務経験のある教員が直接の担当でなくとも、例えば、オムニバス形式で多様な企業等から講師を招いて指導を行う場合や、学外でのインターンシップや実習等を授業の中心に位置付けているなど、主として実践的教育から構成される授業科目もこれに含む。必修科目、選択科目又は自由科目の別を問わない。